

府中町公共施設に関する住民アンケート調査 報告書

令和3年9月

府中町

目 次

I 調査実施の概要 -----	1
1 調査目的 -----	1
2 調査設計 -----	1
3 調査項目 -----	1
4 集計・分析方法 -----	2
5 報告書の見方 -----	2
6 標本誤差 -----	3
II 調査結果のまとめと課題 -----	4
1 公共施設(建物・公園等)の利用状況について-----	4
2 公共施設の老朽化問題について -----	4
3 公共施設の今後のあり方について -----	4
4 自由記述について -----	5
III 調査結果 -----	6
1 回答者属性 -----	6
2 公共施設(建物・公園等)の利用状況について-----	8
3 公共施設の老朽化問題について -----	15
4 公共施設の今後のあり方について -----	17
5 自由記述について -----	35
IV 参考資料 -----	37
1 調査票 -----	37

I 調査実施の概要

1 調査目的

現在、国や地方公共団体を問わず、公共施設の老朽化が大きな社会問題となっている。本町についても、昭和 30 年代から 50 年代の人口増加にあわせて集中的に公共施設を設置してきたが、それらの公共施設の老朽化が進行している。

この度、府中町公共施設等総合管理計画を改定するにあたり、前述した老朽化問題等の解決に向けた方向性や選択肢等について、住民意見を把握し、公共施設のあり方の参考とするために無作為抽出アンケートを実施する。

2 調査設計

- (1) 調査対象 町内在住の 18 歳以上の方を対象とし無作為抽出した 3,500 人
- (2) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (3) 調査期間 令和 3 年 8 月 6 日～8 月 27 日
- (4) 有効回収数（率） 1,482 票（42.3%）

3 調査項目

■設問設計

No	調査項目	内容
問 1	属性	性別
問 2		年齢
問 3		居住地区
問 4		家族構成
問 5		居住年数
問 6	公共施設の利用状況	公共施設の利用状況
問 7		公共施設の利用目的
問 8		有料施設の利用状況
問 9		公共施設の改善案
問 10	公共施設に対する意識	公共施設の老朽化の認知
問 11		公共施設問題への関心
問 12	今後の公共施設のあり方	管理運営方法
問 13		建替えコスト縮減策
問 14		財源確保策
問 15		受益者負担
問 16		施設使用料の見直し
問 17		優先して維持すべき公共施設
問 18	自由記述	

■対象施設

IV 参考資料の調査票最終ページ（P. 47）を参照。

4 集計・分析方法

本調査では、回答者の年齢階層の偏りを補正するため、年齢区分ごとの母集団の構成比に合わせてデータに重み付けをするウェイトバック集計を行った。報告書中の値は、ウェイトバック集計後の値を掲載している。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		補正值 (①/②)
	人数（人）	構成比（％） ①	人数（人）	構成比（％） ②	
20 歳代以下	6,154	14.1	124	8.4	1.68124
30 歳代	6,766	15.5	171	11.6	1.34039
40 歳代	7,733	17.7	221	15.0	1.18536
50 歳代	7,173	16.5	215	14.6	1.13020
60 歳代	5,695	13.1	250	16.9	0.77170
70 歳代	5,985	13.7	281	19.0	0.72153
80 歳以上	4,094	9.4	215	14.6	0.64506
合計	43,600	100.0	1,477	100.0	－

（注）推定母集団は住民基本台帳に基づいて登録された数（令和3年7月1日時点）から算出

（注）構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある

（注）補正值は小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第6位を四捨五入した各構成比から算出

（注）総回収数 1,482 のうち、年齢が未回答数 5

5 報告書の見方

（1）回答者数は、ウェイトバック集計を行い小数点以下第1位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

（2）比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。

（3）複数回答が可能な設問は、回答の合計は調査数を上回ることがある。

（4）図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。

（5）数表、図表、文中に示す n は、拡大後の標本数を表している。

（6）その他や自由意見については、読みやすさ等を考慮し文章の表現を一部変更し掲載している。

6 標本誤差

(1) 標本誤差と信頼度の概要

アンケート調査では、母集団から無作為に抽出した標本データを基に、調査対象の全体を推計するため、得られた回答に誤差が生じる可能性がある。その誤差は、標本誤差と呼ばれ、標本誤差の推定が 100 回のうち 95 回当たる度合いで正確さが保証できるという場合、信頼度 95% と呼ぶ。

通常のアンケート調査の場合は、信頼度 95% を用いるのが一般的であり、許容できる標本誤差の範囲は、5 % 以下が望ましいとされている。

(2) 標本誤差の算出

母集団が M 人、有効回答数が n、回答比率が p の場合、標準誤差は下記の計算式により求められる。本調査の有効回収数（率）は 1,482 票（42.3%）であるため、信頼度 95% における標本誤差を算出すると ±1.2% となり、許容できる標本誤差（5 %）未満となるため、母集団に対し妥当な標本データ数を得ることができたと言える。

$$\text{標本誤差} = \pm k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

M=母集団

※令和3年7月1日時点の 18 歳以上の町民数 43,600 人

k=信頼度による定数

※信頼度 95% とするため k=1.96 とする

n=有効回答数

※1,482 票回収

p=回答比率

※回収率 42.3%

本調査の実際の設問に当てはめてみると、「公共施設問題への関心」の設問に関して、回答者数が 1,482 人で、そのうち「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と回答した人は 59.0% であったことから、標本誤差は、±1.2% となり、この設問の『関心がある』に対する回答比率は、57.8%～60.2% の範囲内にあると考えられる。

Ⅱ 調査結果のまとめと課題

1 公共施設（建物・公園等）の利用状況について

何らかの公共施設を利用している人が7割台半ば、いずれの施設も利用していない人が2割超。

公共施設の利用について、施設を利用していると回答した人は75.0%、「いずれも利用していない」と回答した人は21.4%となっており、低年齢の子供がいる人で利用している割合が高くなっている。

施設の種類でみると、「空城山公園」の施設の利用頻度が最も高く、次いで「くすのきプラザ（図書館・教育委員会）」、「役場庁舎」などの順となっている。

施設の主な利用目的について、全体では「個人での利用（趣味・教養的活動など）」が約7割を占めているが、70歳以上では「施設又は定期団体利用（同好会やサークルなど）」との回答が1割超となっており、他の年代に比べて高くなっている。

2 公共施設の老朽化問題について

公共施設の老朽化問題に関心を持っている人は約6割。

公共施設の老朽化問題について、『関心がある』と回答した人は59.0%となっており、施設を利用していない人より施設を利用している人の方が関心度は高い。

3 公共施設の今後のあり方について

管理運営方法について、「利用頻度の低い施設については統廃合する」が6割台半ば。

建替えコスト縮減策について、「複合化で効率化する」で7割台半ばが賛成、「安価な建物にする」で約4割が反対。

受益者負担について、『利用者が負担するべき』が7割台半ば。

施設使用料の見直しの検討について、「施設を維持するために必要ならば、利用者から適切な使用料を徴収すべきである」が施設利用者・非利用者ともに5割超。

優先して維持していくべき施設は「老人福祉センター福寿館」、「府中公民館」、「府中南交流センター」。

管理運営方法について、利用者・非利用者のいずれにおいても「利用頻度の低い施設については統廃合する」の賛成率が6割台半ばと最も高くなっている。一方で、「税金で負担する（みんなで負担）」との回答は、施設の利用者や公共施設問題への関心が高い人で賛成率が高くなっている。

建替えコスト縮減策については、「安価な建物にする」以外のすべての策で賛成率が反対率を上回っており、中でも「複合化で効率化する」の賛成率が76.9%と最も高い。利用者・非利用者の回答傾向にほとんど差はみられないが、年代別・居住年数別にみると、高齢者や居住年数の長い人で否定的な傾向がみられる。

受益者負担については、『利用者が負担するべき』（74.3%）が『税金で維持するべき』（21.9%）を大きく上回っている。施設利用者においても『利用者が負担するべき』との回答が73.0%と大半を占める。

施設使用料の見直しの検討については、「施設を維持するために必要ならば、利用者から適切な使用料を徴収すべきである」が施設利用者・非利用者ともに5割超と高くなっている。

今後優先して維持するべき施設については、「老人福祉センター福寿館」、「府中公民館」、「府中南交流センター」との回答が高くなっている。

4 自由記述について

子どものための施設は維持すべきとの意見や地域に複数ある交流センターや公民館は統合・廃止すべきとの意見が多い。

その他の意見としては、公共施設に対し避難所としての機能を求める意見や各施設のPRを積極的に行っていくべきとの意見も多い。

現在の公共施設については、子供が遊べる遊具を増やしてほしいといった公園に対する要望が多く、維持すべき公共施設についても、子供のための施設は残すべきとの意見が多くみられる。一方で、地域に複数ある交流センターや公民館を統合・廃止すべきではないかとの意見も多数みられる。

また、避難所として適切な施設は修繕・維持すべきなど、公共施設に対し避難所としての機能を求める意見が多くみられ、災害に強いまちづくりが求められていることが分かる。現状の施設に対し、何のためにある施設かがわからない、PRをもっとしていくべきとの意見も多数みられる。

受益者負担については、利用者が負担すべきとの意見が多いが、町民全体で負担すべきとの意見もみられる。また、町外の人の使用料や趣味や商売での使用料を上げる（有料にする）といった利用者の種類や利用目的に応じて料金を改定すべきとの意見もみられる。

《アンケート調査結果からの課題と今後の課題解決に向けた方向性や選択肢等》

今後の施設のあり方として、管理運営方法については、「利用頻度の低い施設については統廃合する」との意見が64.8%となっており、稼働率や老朽化、施設配置による地域バランスを考慮した上で、本当に必要な施設かどうかを検討していく必要がある。

建替えコスト削減策については、「複合化で効率化する」（賛成率：76.9%）、「廃止も含め検討する」（賛成率57.2%）が高くなっている一方で、「安価な施設にする」（賛成率：22.8%）は反対意見の方が多くなっており、維持していく施設を吟味した上で、必要な施設については、利用者を確保できるよう、しっかりとしたサービスを提供できるものをつくることが求められている。これらの選択肢について、利用者・非利用者の回答傾向にほとんど差はみられないが、年代別・居住年数別にみると、高齢者や居住年数の長い人では否定的な傾向がみられることから、今後の施策を決定していくうえでは、慎重な検討と丁寧な住民説明が必要となる。

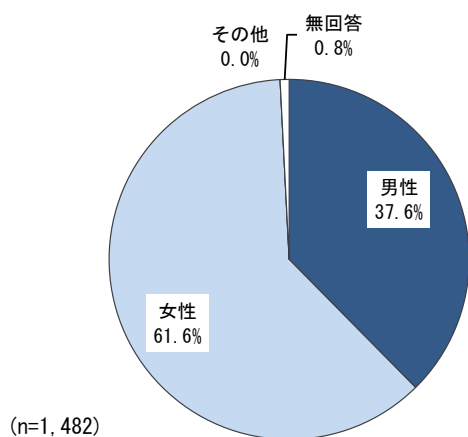
また、財源確保策については、「町民以外の使用料割増し」（賛成率：60.2%）が高くなっている一方で、「駐車場の有料化等」（賛成率：38.4%）は、賛成と反対の意見が同数程度みられる。受益者負担については、『利用者が負担すべき』（74.3%）が『税金で維持すべき』（21.9%）を大きく上回っているが、受益者負担を増やした結果、施設の稼働率が大きく下がることがないように、使用料見直しについては慎重に進めていく必要がある。

優先して維持していくべき施設については、「老人福祉センター福寿館」、「府中公民館」、「府中南交流センター」の回答が高くなっているが、自由記述では各地区に複数ある公民館や交流センターの存在を疑問視する意見もみられる。一方で、低年齢の子供がいる世帯の利用が多い公園については、自由意見でも改善や拡充の要望が多くみられており、子供のための施設は今後も維持できるようにしていく必要がある。また、今回の調査票に記載のあった公共施設の存在自体を初めて知った、場所・利用方法がわからないといった意見も多くみられており、各施設をどういった目的で設置しており、町民がどのようなことに活用できるのかを、もっとPRしていく必要がある。

Ⅲ 調査結果

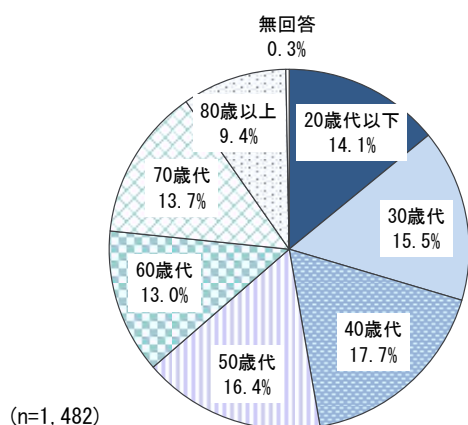
1 回答者属性

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)



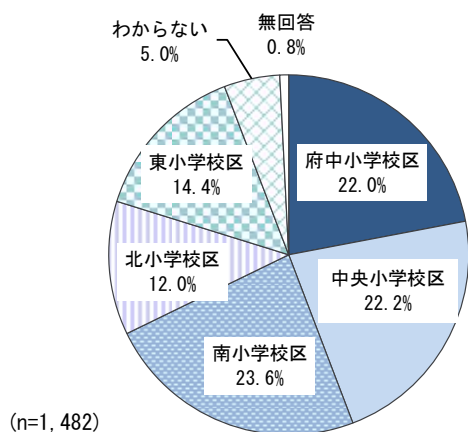
	回答数	規正標本数	割合
男性	571	558	37.6%
女性	898	912	61.6%
その他	1	1	0.0%
無回答	12	11	0.8%

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(令和3年7月1日時点)(〇は1つ)



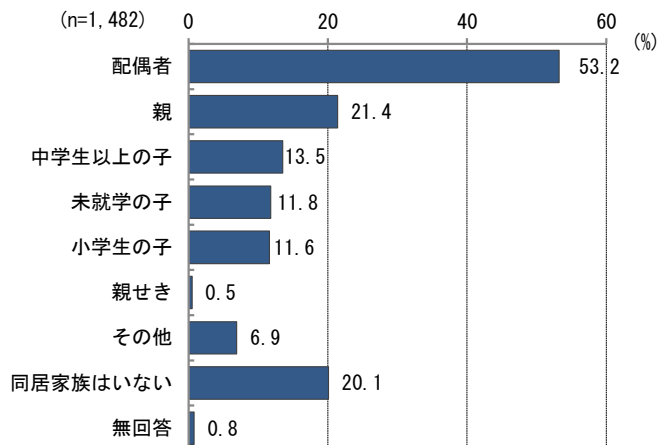
	回答数	規正標本数	割合
20歳以下	124	208	14.1%
30歳代	171	229	15.5%
40歳代	221	262	17.7%
50歳代	215	243	16.4%
60歳代	250	193	13.0%
70歳代	281	203	13.7%
80歳以上	215	139	9.4%
無回答	5	5	0.3%

問3 あなたがお住まいの地区はどの小学校区ですか。(〇は1つ)



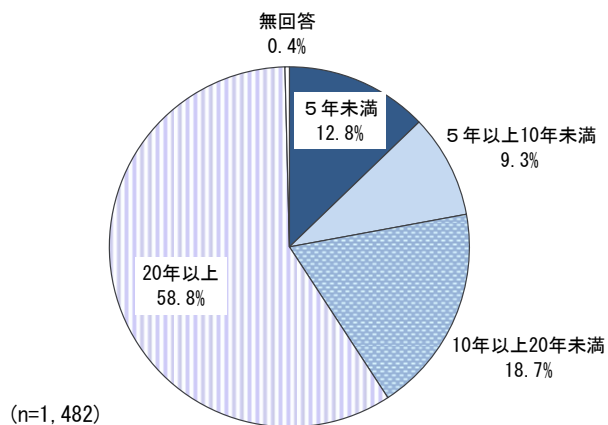
	回答数	規正標本数	割合
府中小学校区	318	326	22.0%
中央小学校区	321	329	22.2%
南小学校区	362	349	23.6%
北小学校区	179	178	12.0%
東小学校区	220	213	14.4%
わからない	68	74	5.0%
無回答	14	12	0.8%

問4 同居されているご家族についてお答えください。(〇はいくつでも)



	回答数	規正標本数	割合
配偶者	794	789	53.2%
未就学の子	133	175	11.8%
小学生の子	141	172	11.6%
中学生以上の子	174	200	13.5%
親	243	317	21.4%
親せき	8	8	0.5%
その他	103	103	6.9%
同居家族はいない	355	298	20.1%
無回答	13	12	0.8%

問5 府中町での居住年数についてお答えください。(〇は1つ)

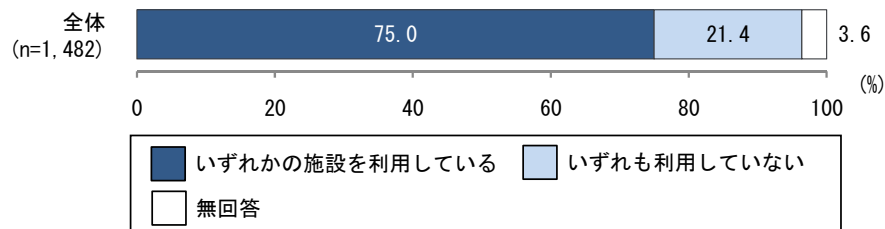


	回答数	規正標本数	割合
5年未満	148	190	12.8%
5年以上10年未満	118	138	9.3%
10年以上20年未満	236	277	18.7%
20年以上	973	871	58.8%
無回答	7	6	0.4%

2 公共施設（建物・公園等）の利用状況について

問6 下記の公共施設のうち、利用頻度が高いものから順に3つまで選びそれぞれの順位に番号を記入してください。避難所としての利用は除き、日常の利用でお答えください。（番号を記入）

【全体】



※「いずれかの施設を利用している」…1～3位にいずれかの施設の番号を記入した人。

【順位別】

(点)		
順位	施設名	得点
1位	空城山公園	1,149
2位	くすのきプラザ(図書館・教育委員会)	1,111
3位	役場庁舎	808
4位	府中南交流センター	405
5位	揚倉山健康運動公園	388
6位	水分峡森林公園	374
7位	くすのきプラザ(アリーナ・会議室等)	362
8位	府中南公民館	325
9位	小中学校(グラウンド・体育館)	221
10位	府中公民館	177
11位	老人福祉センター福寿館	174
12位	府中北交流センター	144
13位	ふれあい福祉センター	70
14位	総社会館	59
15位	東地区センター	32
16位	鶴江地区センター	30
—	その他	96

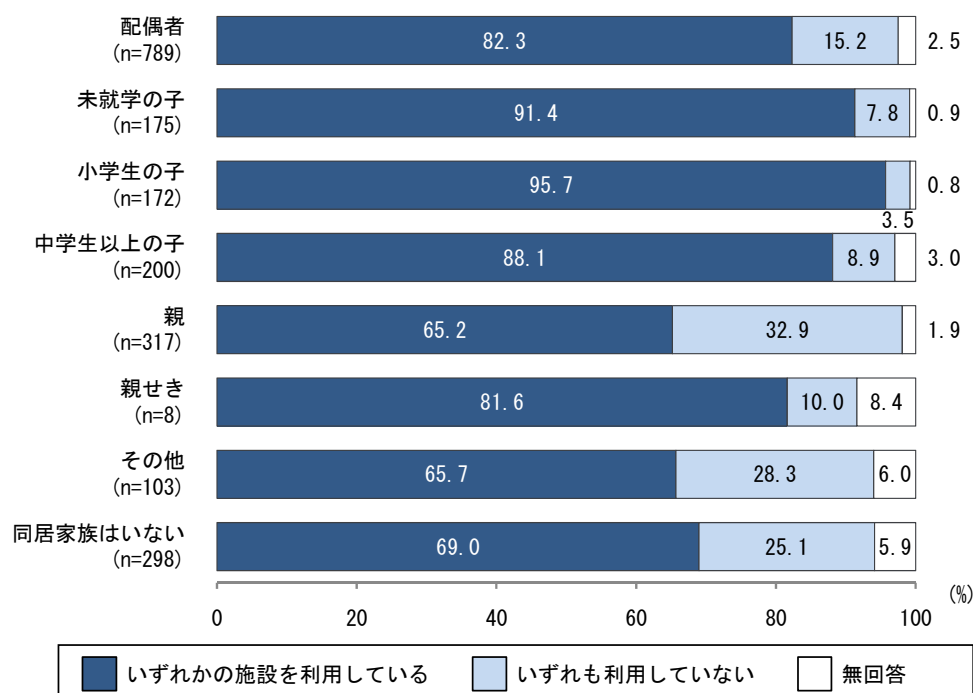
※公共施設の利用状況 1位…3点、2位…2点、3位…1点で点数化し、順位を算出している。

公共施設の利用状況について、「いずれかの施設を利用している」との回答が75.0%、「いずれも利用していない」との回答が21.4%となっている。

また、順位別でみると、「空城山公園」、「くすのきプラザ(図書館・教育委員会)」、「役場庁舎」の利用頻度が高くなっている。

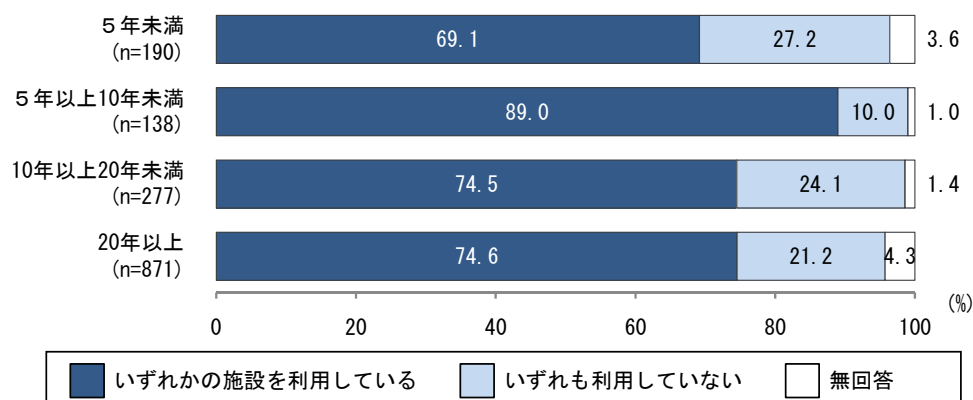
【同居家族別】

同居家族別にみると、「いずれかの施設を利用している」との回答は「未就学の子」、「小学生の子」と同居している人で9割超と高くなっている。



【居住年数別】

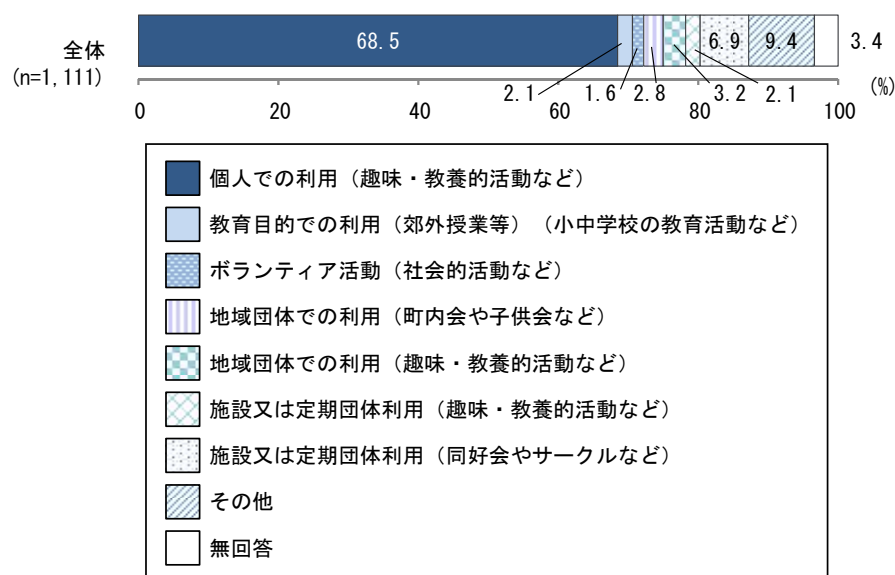
居住年数別にみると、「いずれかの施設を利用している」との回答は5年以上 10年未満で約9割と高くなっている。



問6で最も利用頻度が高い（1位）と回答した施設の利用についてお尋ねします。

問7 あなたの主な利用目的はどれですか。（○は1つ）

【全体】



公共施設の利用目的について、「個人での利用（趣味・教養的活動など）」との回答が 68.5%と最も高く、次いで「施設又は定期団体利用（同好会やサークルなど）」（6.9%）、「地域団体での利用（趣味・教養的活動など）」（3.2%）などの順となっている。

【施設利用状況別】

施設利用状況別にみると、ほとんどの施設で「個人での利用（趣味・教養的活動など）」の割合が高くなっている。また、小中学校（グラウンド・体育館）では「施設又は定期団体利用（同好会やサークルなど）」の割合が高くなっている。

		(%)								
		養個人での利用 活動など） 趣味・教	育授教育目的での利用 活動等）小中学校の郊外	的ランティ 活動など） 社会	会や子 団体での利用 町内	味・地域 教養的活動など） 趣	ど）施設又は定期団体利用 趣味・教養的活動など）	ど）施設又は定期団体利用 同好会やサークルなど）	その他	無回答
全体（n=1,111）		68.5	2.1	1.6	2.8	3.2	2.1	6.9	9.4	3.4
施設利用状況別	くすのきプラザ（アリーナ・会議室等）（n=70）	63.6	3.4	1.9	-	3.0	6.7	10.8	6.7	3.8
	くすのきプラザ（図書館・教育委員会）（n=247）	93.7	1.6	0.5	0.3	0.5	0.8	0.6	1.3	0.9
	府中南交流センター（n=88）	56.4	0.8	0.8	9.0	3.2	0.9	3.8	20.3	4.7
	府中北交流センター（n=23）	56.5	-	-	17.2	5.5	5.8	7.2	5.1	2.8
	府中公民館（n=31）	39.0	2.4	2.4	4.5	10.8	7.1	23.5	-	10.5
	府中南公民館（n=47）	26.8	-	4.7	13.4	6.2	11.9	26.3	6.3	4.3
	東地区センター（n=7）	9.2	-	-	34.5	-	19.5	27.6	9.2	-
	総社会館（n=5）	12.2	-	-	-	51.7	-	-	22.4	13.7
	鶴江地区センター（n=6）	-	-	-	28.2	29.8	-	32.1	9.9	-
	小中学校（グラウンド・体育館）（n=43）	14.6	20.2	-	7.3	12.1	2.7	31.4	9.0	2.7
	ふれあい福祉センター（n=15）	4.7	-	46.8	5.0	-	8.9	9.7	16.5	8.4
	老人福祉センター福寿館（n=23）	34.7	-	10.7	-	19.0	6.2	20.1	3.3	5.9
	揚倉山健康運動公園（n=62）	82.6	4.1	-	1.2	4.6	-	5.7	1.9	-
	空城山公園（n=221）	89.0	1.3	0.3	0.5	1.4	-	4.2	1.3	1.9
	水分峡森林公園（n=45）	94.7	-	-	-	-	-	-	-	5.3
役場庁舎（n=155）	55.0	-	-	-	-	0.4	-	38.6	5.9	
その他（n=21）	25.3	6.3	3.4	3.0	6.3	6.3	28.8	5.3	15.3	

1位 2位 3位

【年代別】

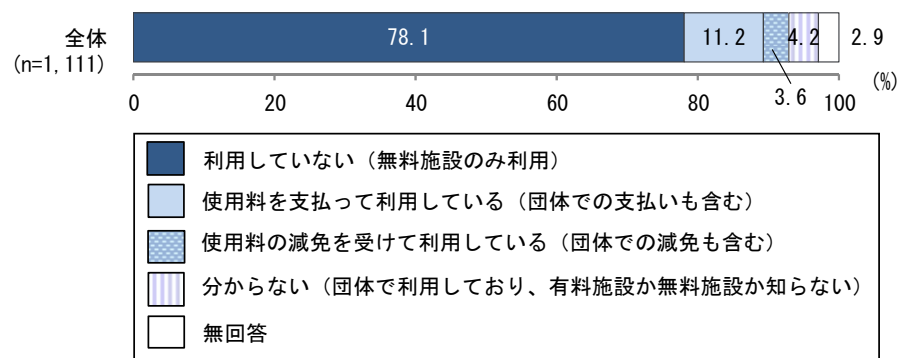
年代別にみると、「個人での利用（趣味・教養的活動など）」との回答は年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。また、「施設又は定期団体利用（同好会やサークルなど）」との回答は70歳以上で1割超と高くなっている。

(%)										
		養個人での利用 活動など） 趣味・教	育授教育目的での利用 活動等）小中学校の郊外	的ランティ 活動など） 社会	会や子 団体での利用 町内	味・地域 教養的活動など） 趣	ど）施設又は定期団体利用 趣味・教養的活動な	ど）施設又は定期団体利用 同好会やサークル利用	その他	無回答
全体（n=1, 111）		68.5	2.1	1.6	2.8	3.2	2.1	6.9	9.4	3.4
年代別	20歳代以下（n=146）	82.8	3.4	-	-	1.1	1.1	2.3	8.0	1.1
	30歳代（n=184）	80.3	3.6	0.7	0.7	2.9	2.2	4.4	5.1	-
	40歳代（n=202）	67.6	3.5	-	3.5	2.4	1.8	7.6	8.8	4.7
	50歳代（n=180）	70.4	1.3	1.3	1.9	1.9	0.6	3.8	17.6	1.3
	60歳代（n=141）	65.6	-	2.2	3.8	2.2	1.6	8.7	12.6	3.3
	70歳代（n=158）	55.7	1.4	5.5	5.5	4.6	5.0	11.4	5.5	5.5
	80歳以上（n=100）	48.4	-	1.9	5.2	9.7	3.2	12.3	7.7	11.6

1位 2位 3位

問8 主な利用目的での利用の際、あなたは有料施設を利用しますか。(○は1つ)

【全体】



有料施設の利用状況について、「利用していない（無料施設のみ利用）」との回答が78.1%と最も高く、次いで「使用料を支払って利用している（団体での支払いも含む）」（11.2%）、「分からない（団体で利用しており、有料施設か無料施設か知らない）」（4.2%）などの順となっている。

【施設利用状況別】

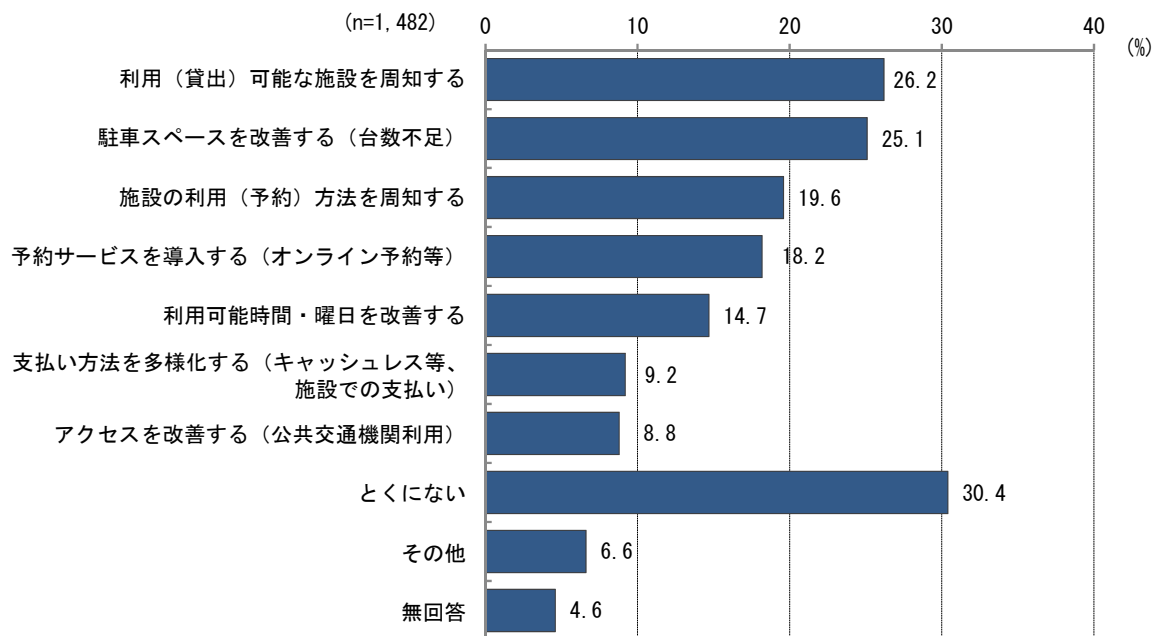
施設利用状況別にみると、ほとんどの施設が「利用していない（無料施設のみ利用）」の割合が高くなっている。また、くすのきプラザ（アリーナ・会議室等）では「使用料を支払って利用している（団体での支払いも含む）」の割合が高くなっている。

		(%)				
		利用していない （無料施設のみ利用）	使用料を支払って利用している （団体での支払いも含む）	使用料の減免を受けて利用している （団体での減免も含む）	分からない （団体で利用しており、有料施設か無料施設か知らない）	無回答
全体（n=1,111）		78.1	11.2	3.6	4.2	2.9
施設利用状況別	くすのきプラザ（アリーナ・会議室等）（n=70）	32.0	54.0	5.0	6.9	2.1
	くすのきプラザ（図書館・教育委員会）（n=247）	92.3	5.0	0.6	1.1	1.0
	府中南交流センター（n=88）	81.1	7.6	1.6	7.3	2.4
	府中北交流センター（n=23）	87.8	-	-	9.4	2.8
	府中公民館（n=31）	42.4	13.4	20.3	15.5	8.4
	府中南公民館（n=47）	46.3	18.9	15.3	16.5	2.9
	東地区センター（n=7）	72.4	-	9.2	9.2	9.2
	総社会館（n=5）	86.3	13.7	-	-	-
	鶴江地区センター（n=6）	57.9	9.9	-	32.1	-
	小中学校（グラウンド・体育館）（n=43）	47.2	34.9	11.7	6.2	-
	ふれあい福祉センター（n=15）	48.7	19.4	9.2	14.4	8.4
	老人福祉センター福寿館（n=23）	59.3	10.6	19.0	8.0	3.1
	揚倉山健康運動公園（n=62）	71.4	21.8	1.0	4.6	1.2
	空城山公園（n=221）	89.4	4.6	1.5	1.6	3.0
	水分峡森林公園（n=45）	95.1	3.1	1.7	-	-
	役場庁舎（n=155）	91.4	0.9	0.5	1.7	5.6
	その他（n=21）	42.9	30.5	15.0	-	11.6

1位 2位 3位

問9 あなたは公共施設のサービス内容について、どのような改善があれば利用しやすくなりますか。(〇はいくつでも)

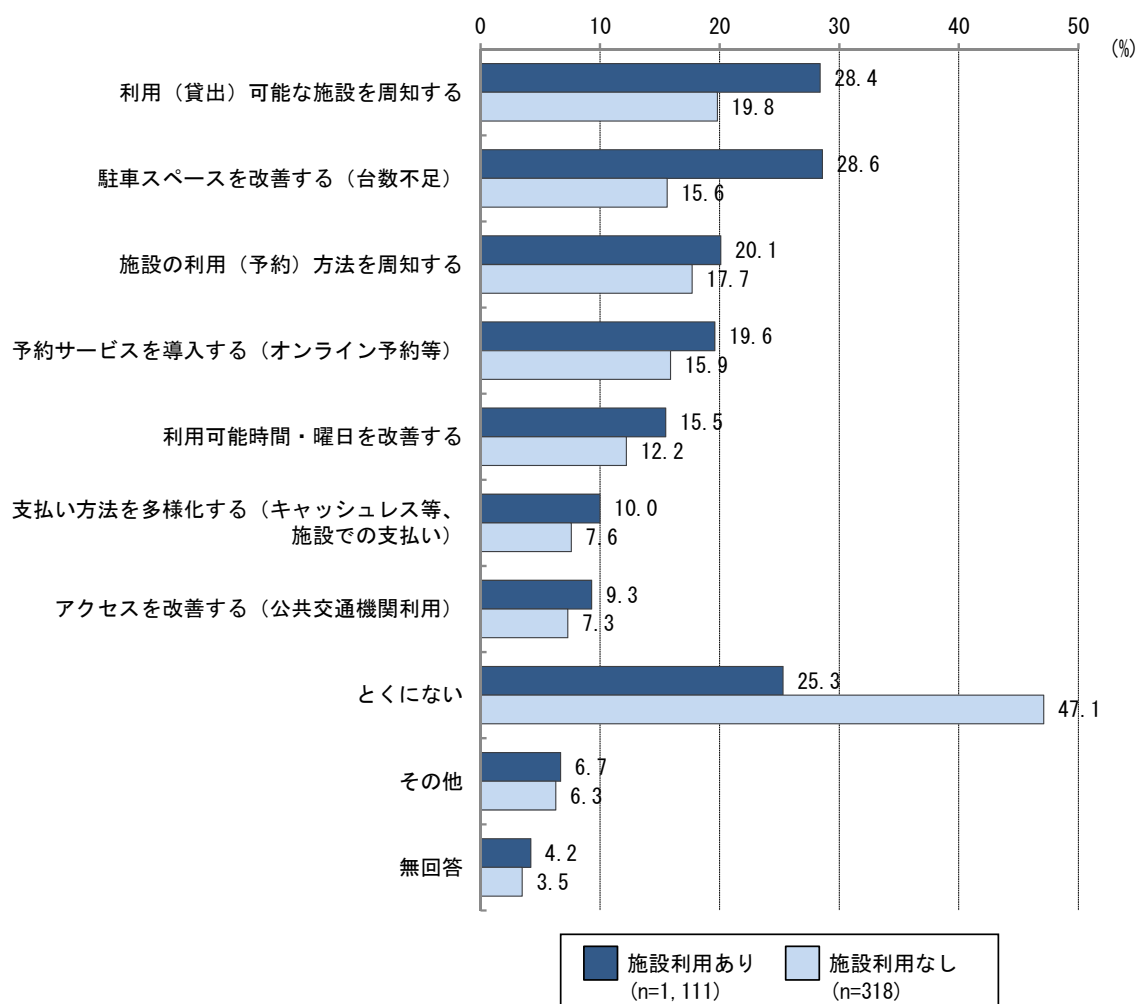
【全体】



公共施設の改善案について、「利用（貸出）可能な施設を周知する」との回答が26.2%と最も高く、次いで「駐車スペースを改善する（台数不足）」(25.1%)、「施設の利用（予約）方法を周知する」(19.6%)などの順となっている。

【施設利用状況別】

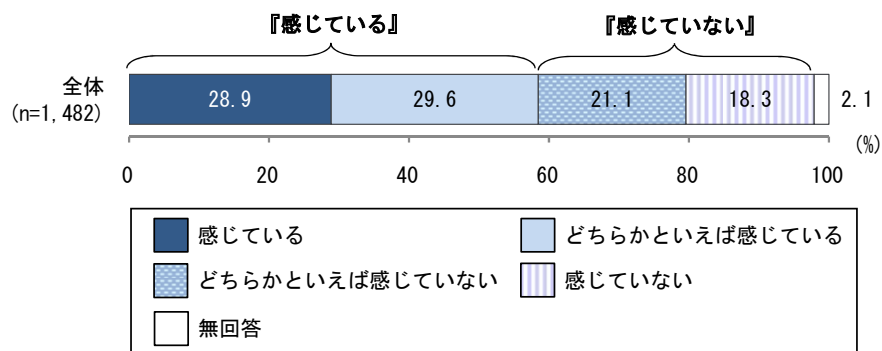
施設利用状況別にみると、「駐車スペースを改善する（台数不足）」との回答は「施設利用あり」（28.6%）が「施設利用なし」（15.6%）を 13.0 ポイント、「利用（貸出）可能な施設を周知する」との回答は「施設利用あり」（28.4%）が「施設利用なし」（19.8%）を 8.6 ポイント上回っている。また、「施設利用なし」では「とくにない」との回答が約5割となっている。



3 公共施設の老朽化問題について

問 10 あなたは身近な公共施設が老朽化していると感じていますか。(○は1つ)

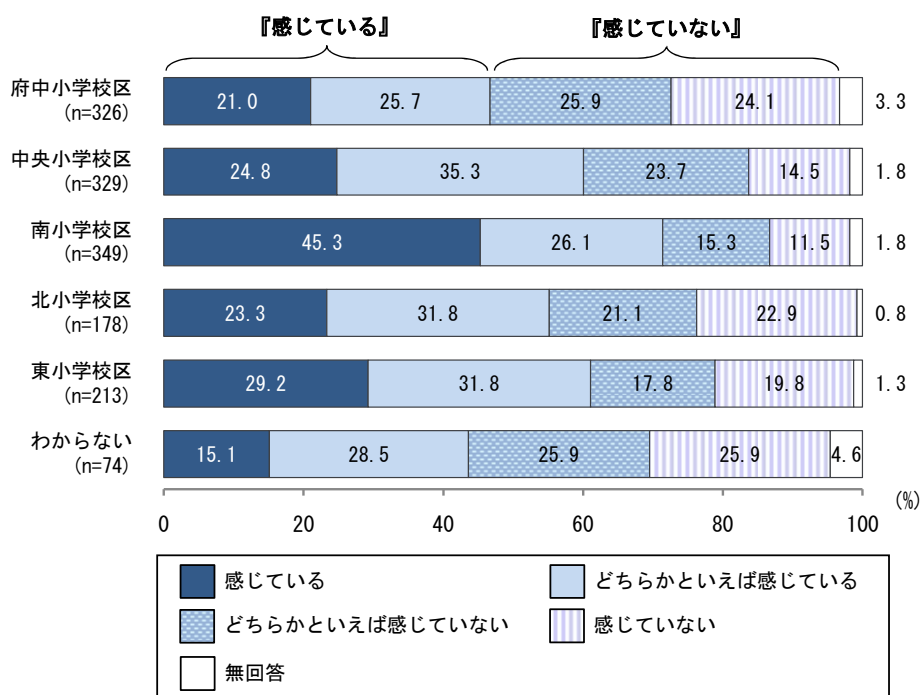
【全体】



公共施設の老朽化の認知について、『感じる』（「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた割合）との回答が 58.5%、『感じていない』（「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」を合わせた割合）との回答が 39.4%となっている。

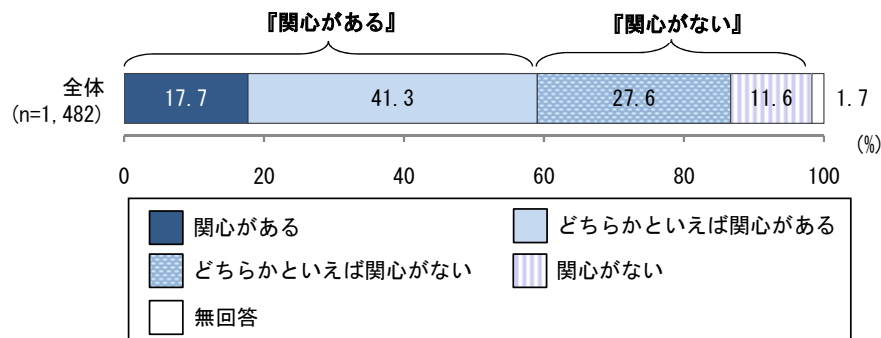
【居住地区別】

居住地区別にみると、『感じる』との回答は南小学校区で7割超と高くなっている。



問 11 あなたは公共施設の老朽化問題や更新問題にどのくらい関心をお持ちですか。(○は1つ)

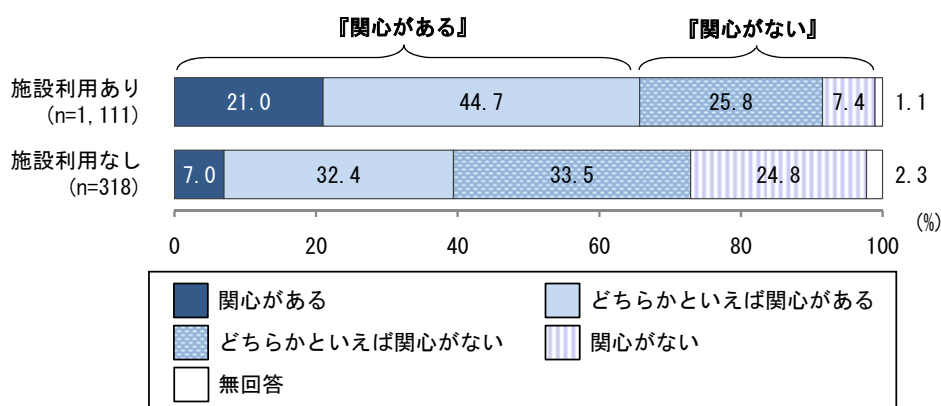
【全体】



公共施設問題への関心について、『関心がある』（「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合）との回答が 59.0%、『関心がない』（「関心がない」と「どちらかといえば関心がない」を合わせた割合）との回答が 39.2%となっている。

【施設利用状況別】

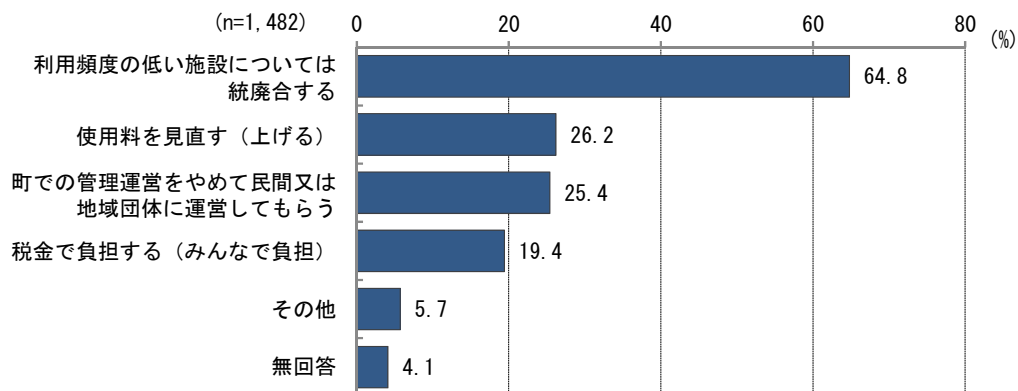
施設利用状況別にみると、『関心がある』との回答は「施設利用あり」（65.7%）が「施設利用なし」（39.4%）を 26.3 ポイント上回っている。



4 公共施設の今後のあり方について

問 12 公共施設の管理運営にかかる費用について、コスト削減策や財源確保としてあなたはどのような方法がよいと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

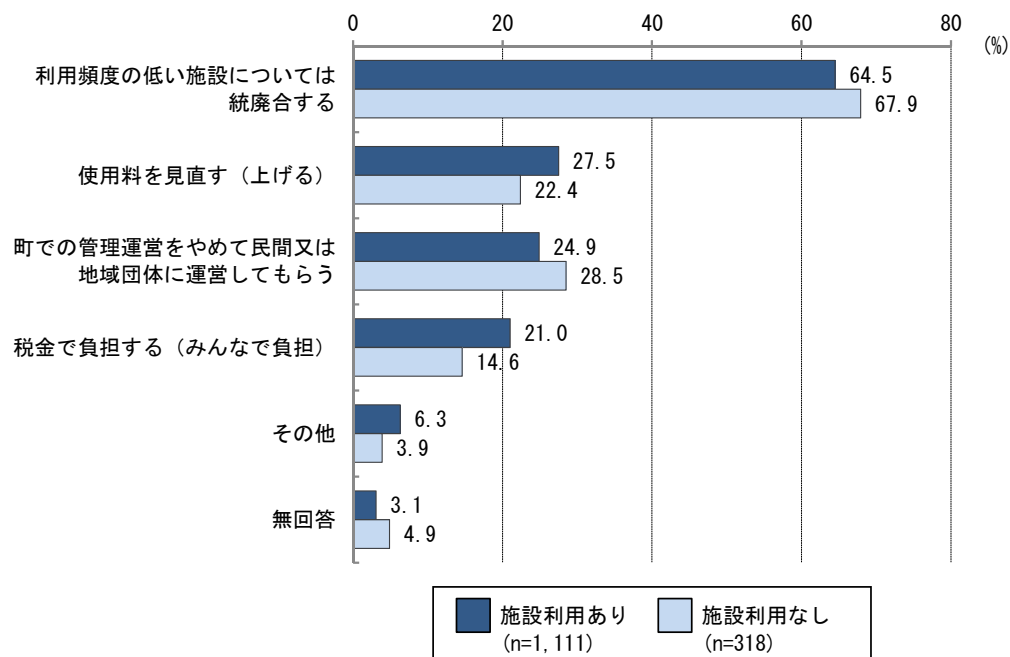
【全体】



管理運営方法について、「利用頻度の低い施設については統廃合する」との回答が 64.8%と最も高く、次いで「使用料を見直す（上げる）」（26.2%）、「町での管理運営をやめて民間又は地域団体に運営してもらう」（25.4%）などの順となっている。

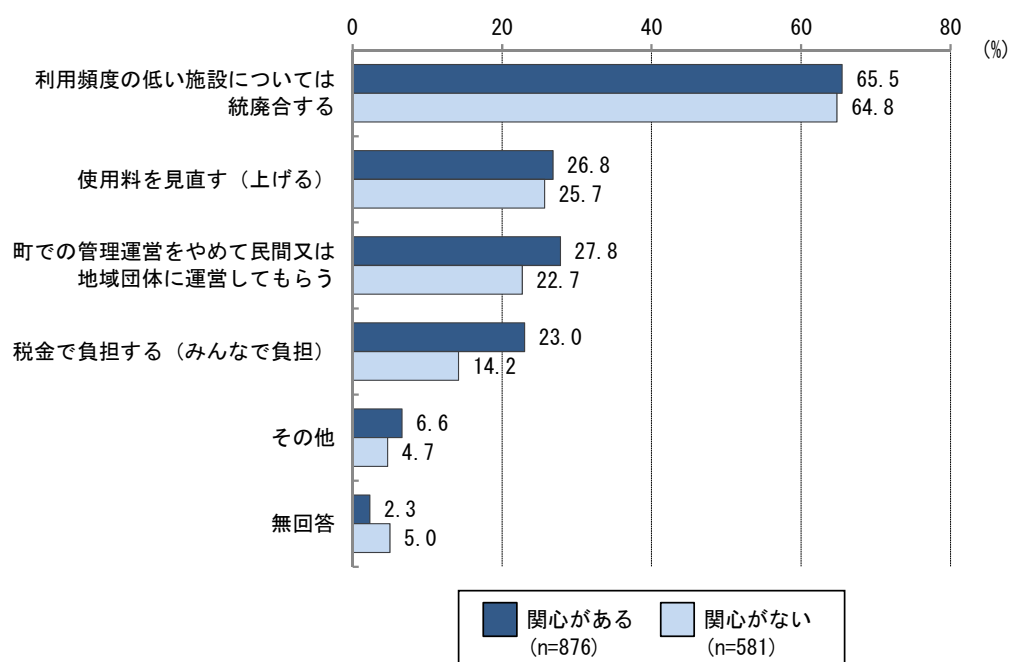
【施設利用状況別】

施設利用状況別にみると、「税金で負担する（みんなで負担）」との回答は「施設利用あり」（21.0%）が「施設利用なし」（14.6%）を 6.4 ポイント上回っている。



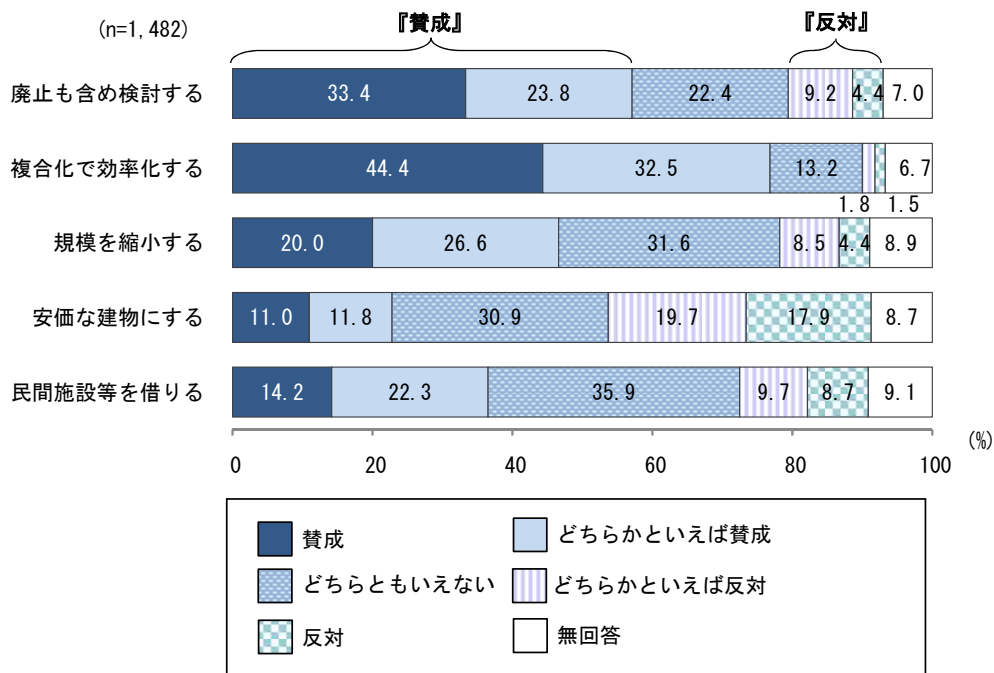
【公共施設問題への関心度別】

公共施設問題への関心度別にみると、「税金で負担する（みんなで負担）」との回答は「関心がある」（23.0%）が「関心がない」（14.2%）を8.8ポイント上回っている。



問 13 公共施設を維持していくために、特に建替えコストを縮減することが重要です。次のような建替えコスト縮減策をあなたはどのように考えますか。(建替えコスト縮減策ごとに○は1つ)

【全体】

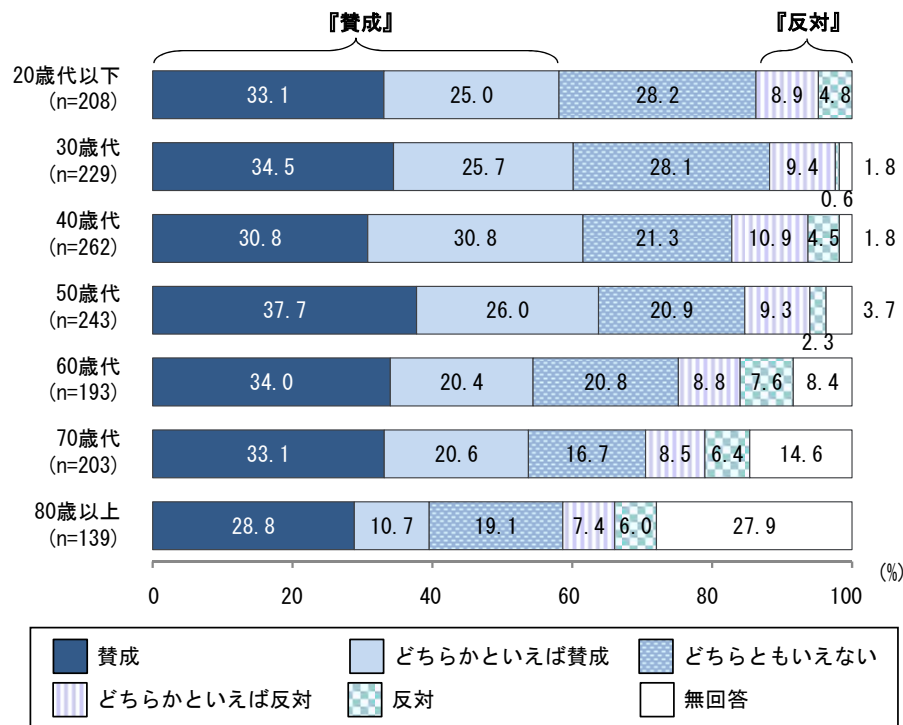


建替えコスト縮減策について、『賛成』（「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合）との回答は、「複合化で効率化する」で7割台半ば、「廃止も含め検討する」で約6割、「規模を縮小する」で4割台半ばと高くなっている。また、『反対』（「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合）との回答は、「安価な建物にする」で約4割と高くなっている。

①廃止も含め検討する

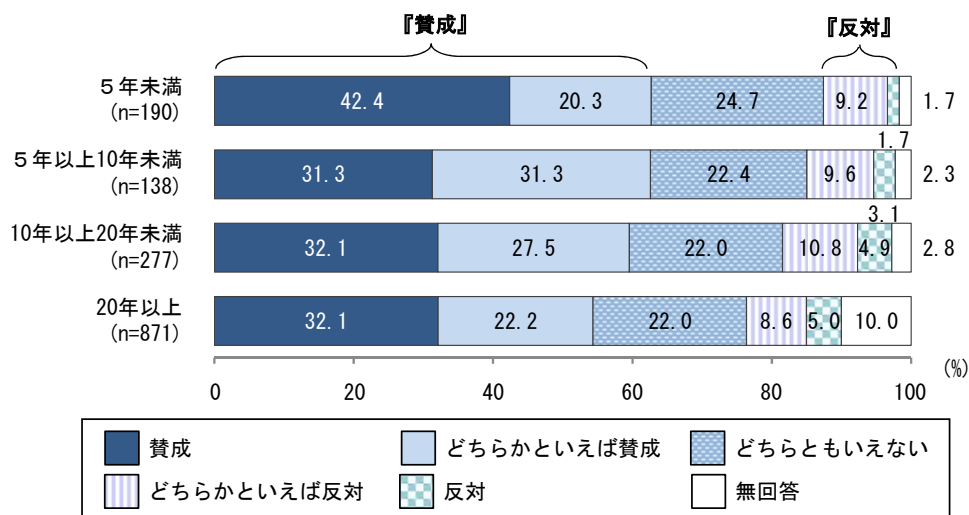
【年代別】

年代別にみると、『賛成』との回答は30歳代～50歳代で6割超と高くなっている。



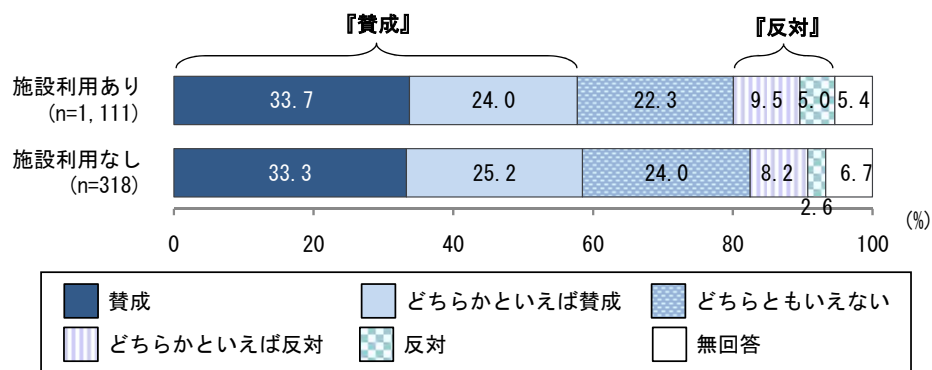
【居住年数別】

居住年数別にみると、『賛成』との回答は10年未満で6割超と高くなっている。



【施設利用状況別】

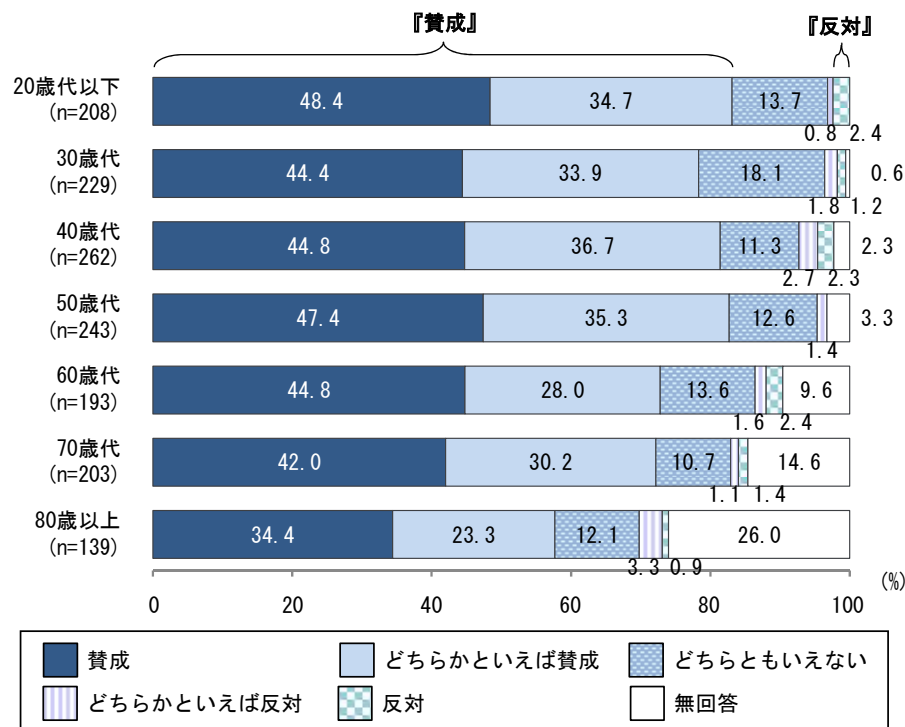
施設利用状況別にみると、『賛成』との回答は施設利用に関わらず約6割と大きな差はみられない。



②複合化で効率化する

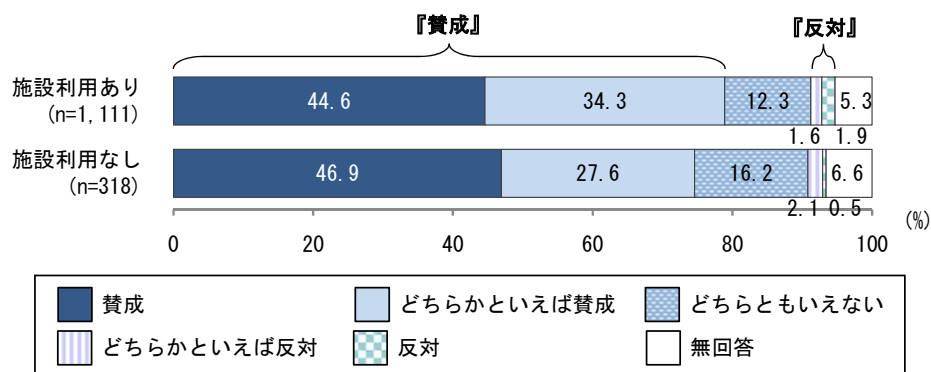
【年代別】

年代別にみると、『賛成』との回答は50歳代以下で8割前後と高くなっている。



【施設利用状況別】

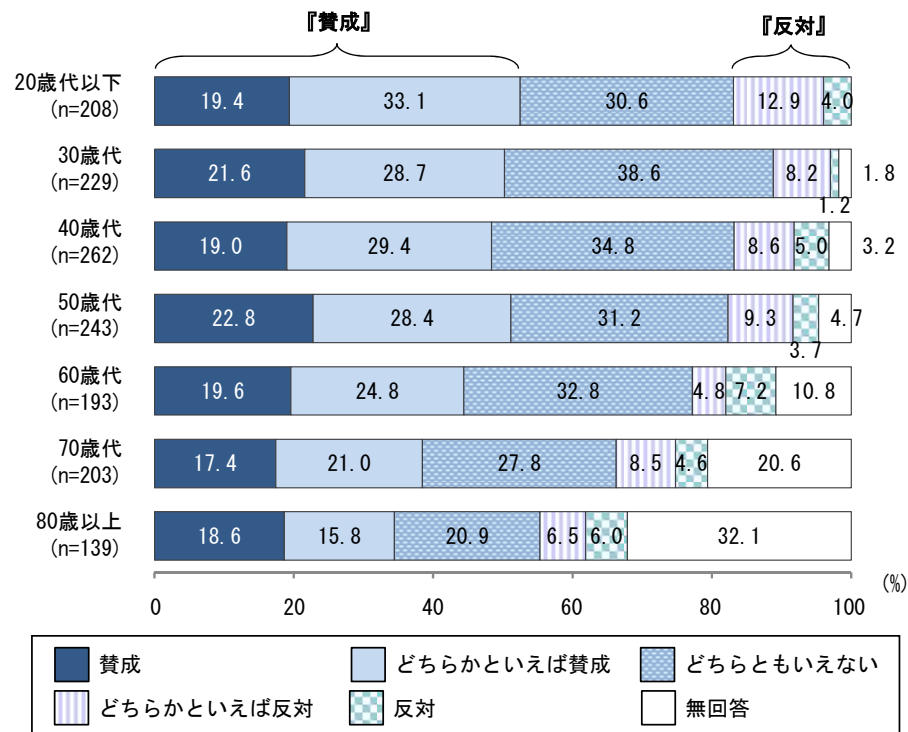
施設利用状況別にみると、『賛成』との回答は施設利用に関わらず7割台と大きな差はみられない。



③規模を縮小する

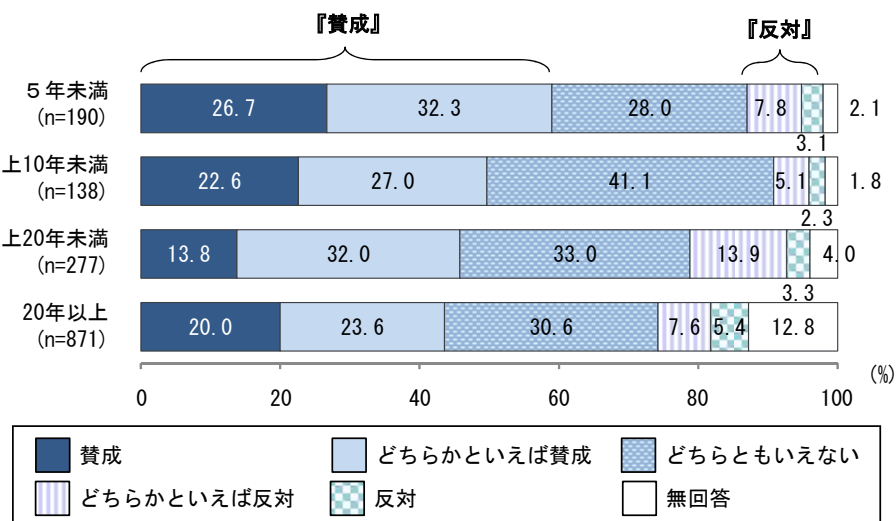
【年代別】

年代別にみると、『賛成』との回答は20歳代以下～30歳代、50歳代で5割超と高くなっている。



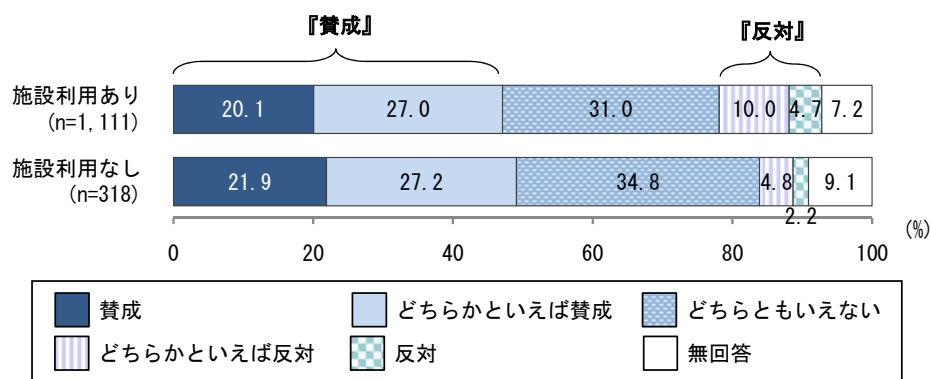
【居住年数別】

居住年数別にみると、『賛成』との回答は5年未満で約6割と高くなっている。



【施設利用状況別】

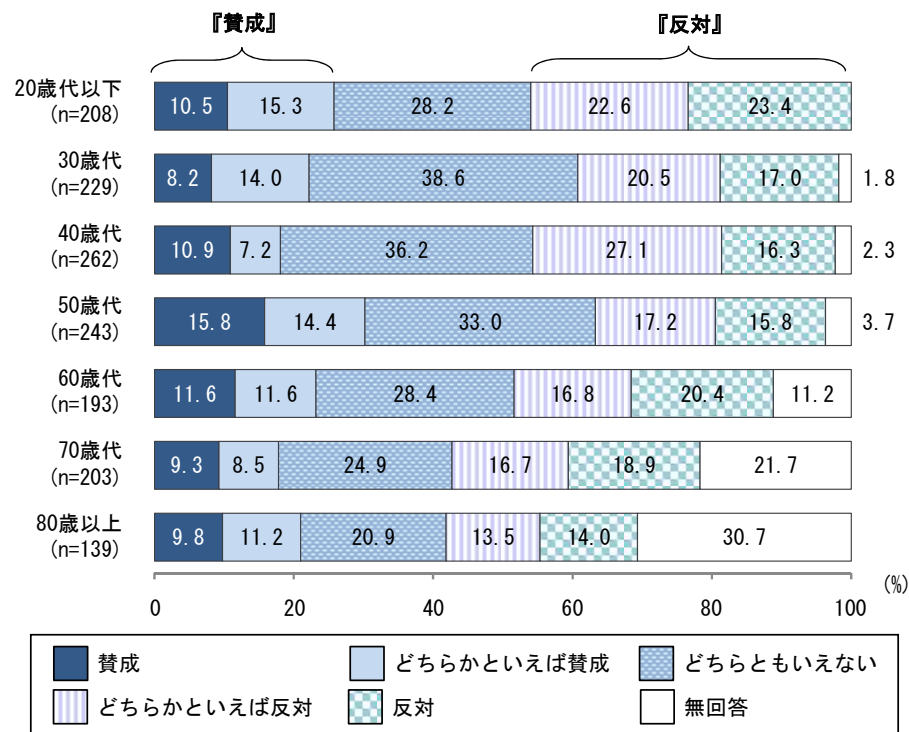
施設利用状況別にみると、『賛成』との回答は施設利用に関わらず約5割と大きな差はみられない。



④安価な建物にする

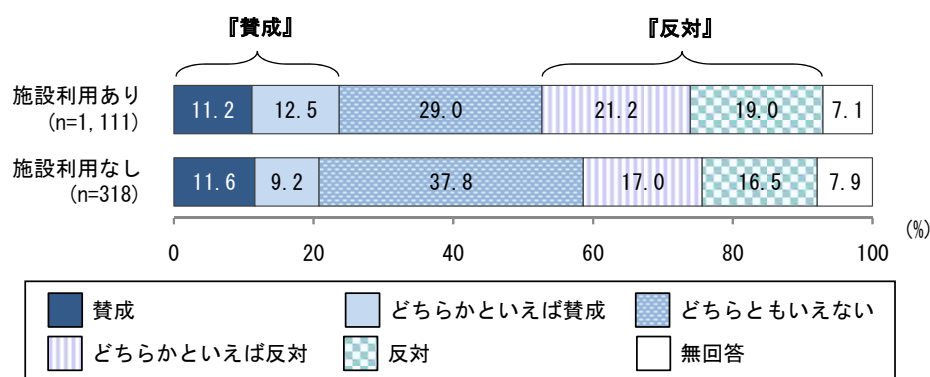
【年代別】

年代別にみると、『反対』との回答は20歳代以下、40歳代で4割台半ばと高くなっている。



【施設利用状況別】

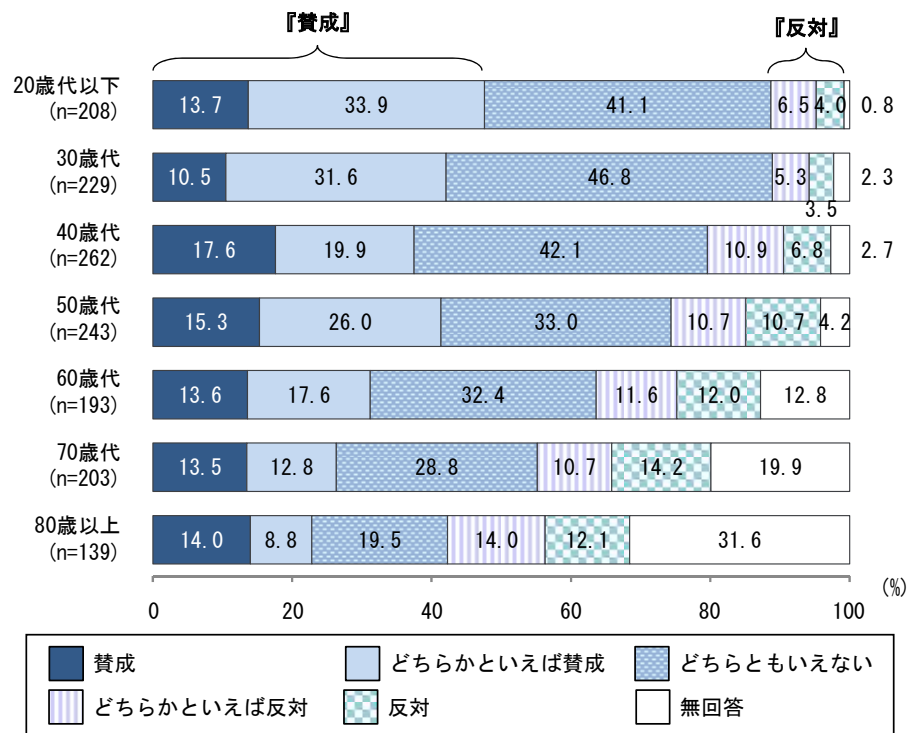
施設利用状況別にみると、『反対』との回答は「施設利用あり」(40.2%)が「施設利用なし」(33.5%)を6.7ポイント上回っている。



⑤民間施設等を借りる

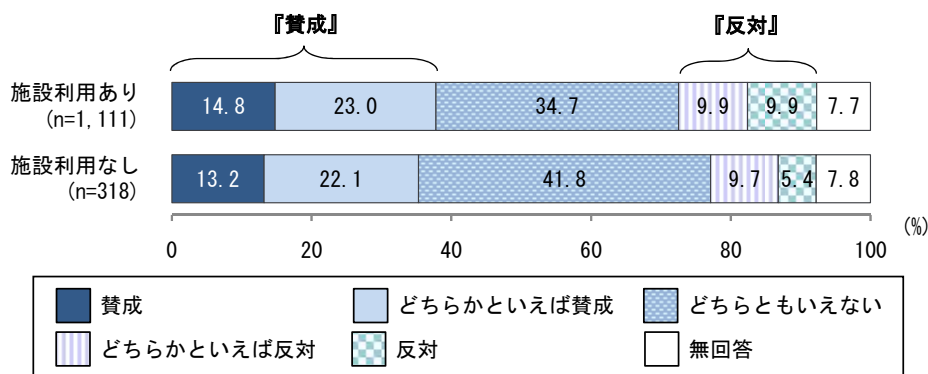
【年代別】

年代別にみると、『賛成』との回答は20歳代以下で約5割と高くなっており、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。



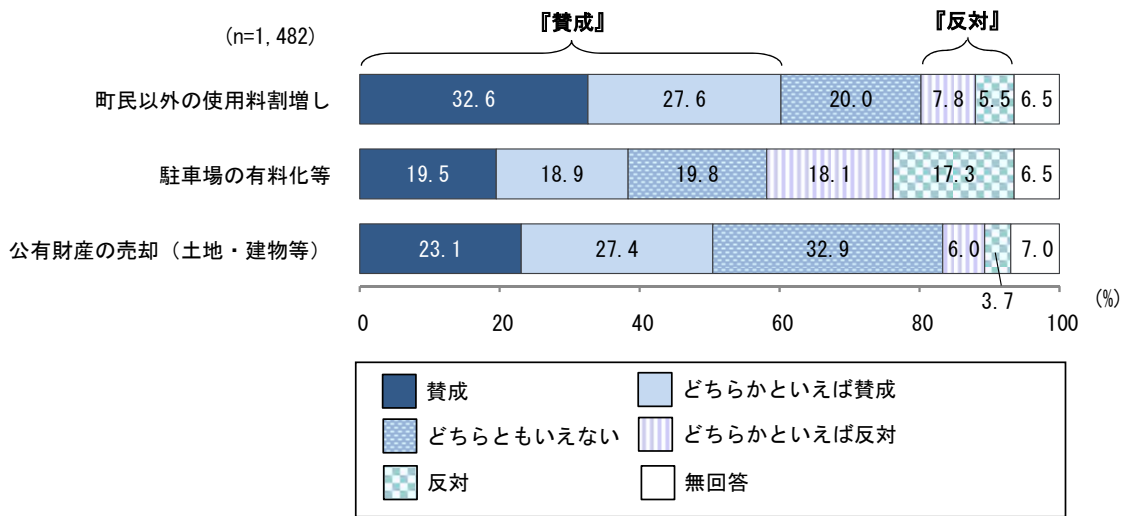
【施設利用状況別】

施設利用状況別にみると、『賛成』との回答は施設利用に関わらず3割台半ばと大きな差はみられない。



問 14 公共施設を維持していくために、コストを縮減してもなお財政的に厳しい場合などにおいて、次のような財源確保策をあなたはどのように考えますか。（財源確保策ごとに○は1つ）

【全体】

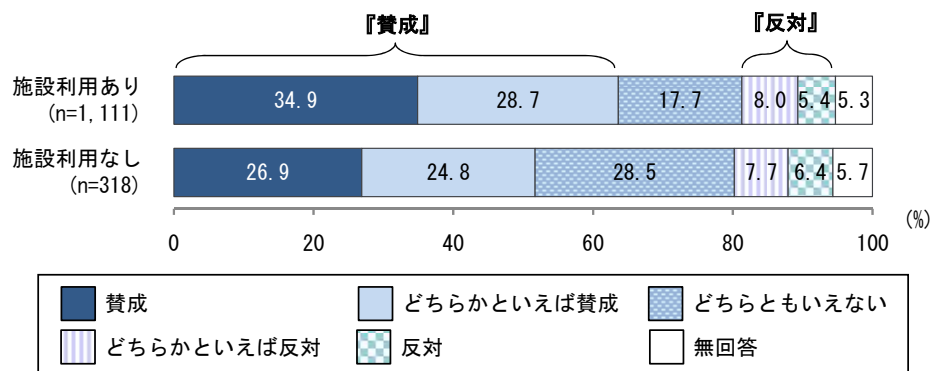


財源確保策について、『賛成』との回答は、「町民以外の使用料割増し」で約6割、「公有財産の売却（土地・建物）」で約5割、「駐車場の有料化等」で約4割となっている。また、『反対』との回答は、「駐車場の有料化等」で3割台半ばと高くなっている。

①町民以外の使用料割増し

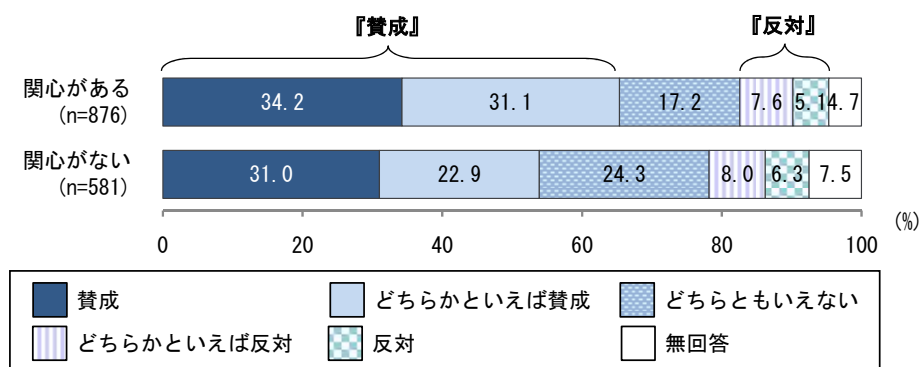
【施設利用状況別】

施設利用状況別にみると、『賛成』との回答は「施設利用あり」(63.6%)が「施設利用なし」(51.7%)を11.9ポイント上回っている。



【公共施設問題への関心度別】

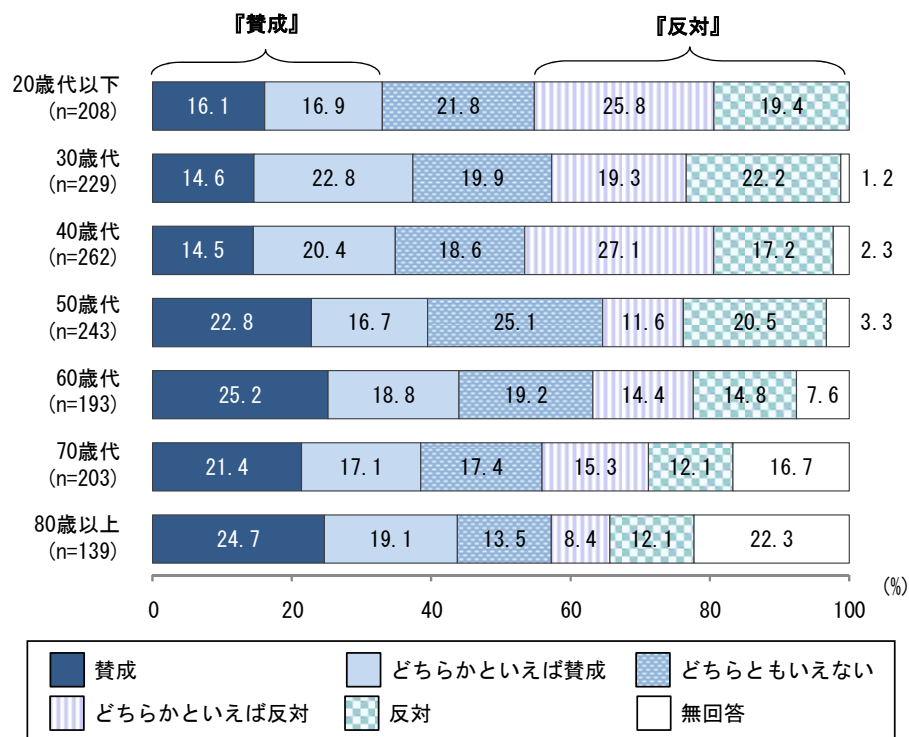
公共施設問題への関心度別にみると、『賛成』との回答は「関心がある」(65.3%)が「関心がない」(53.9%)を11.4ポイント上回っている。



②駐車場の有料化等

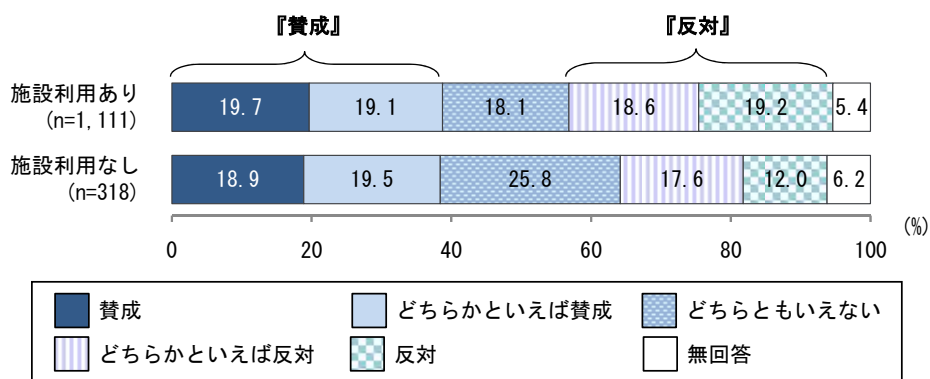
【年代別】

年代別にみると、『反対』との回答は20歳代以下で4割台半ばと高くなっており、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。



【施設利用状況別】

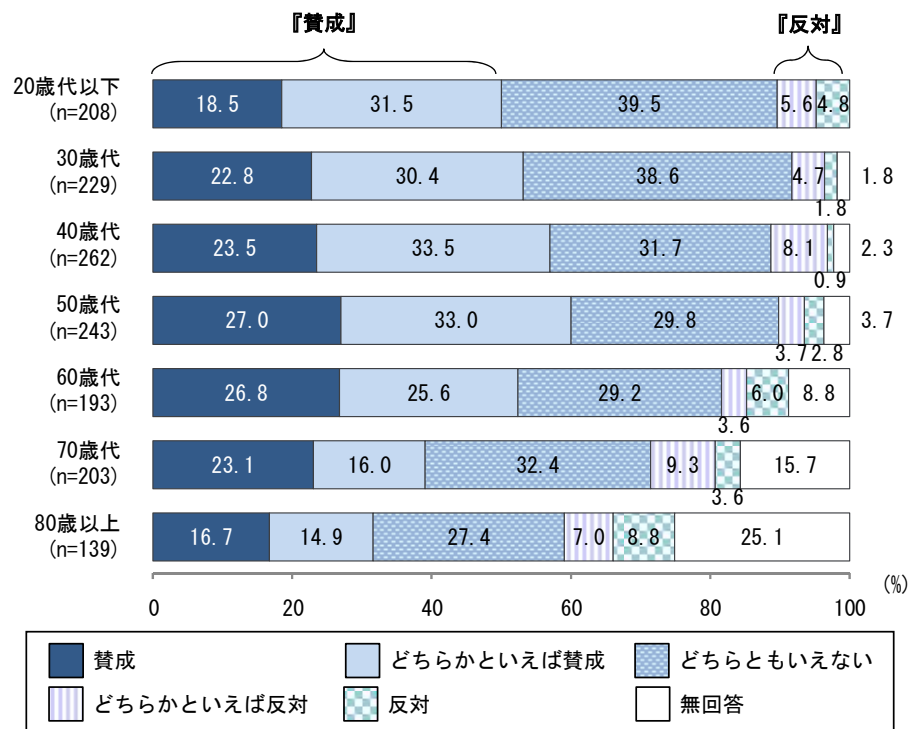
施設利用状況別にみると、『反対』との回答は「施設利用あり」(37.8%)が「施設利用なし」(29.6%)を8.2ポイント上回っている。



③公有財産の売却（土地・建物等）

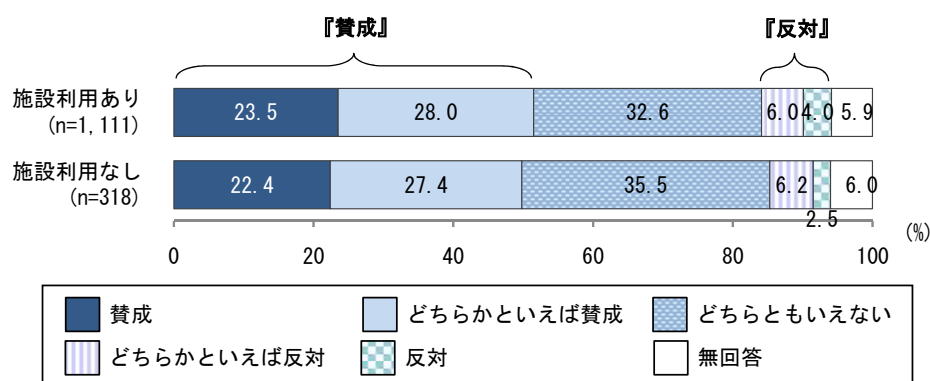
【年代別】

年代別にみると、『賛成』との回答は50歳代で6割と高くなっている。また、『反対』との回答は70歳代～80歳以上で1割超と高くなっている。



【施設利用状況別】

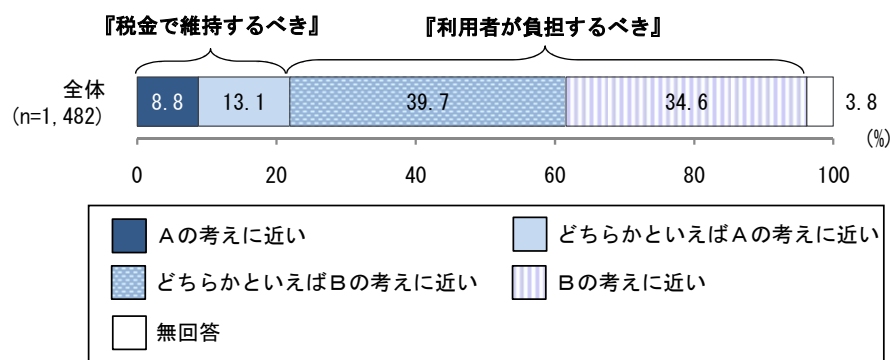
施設利用状況別にみると、『賛成』との回答は施設利用に関わらず約5割と大きな差はみられない。



問 15 公共施設の運営に必要なコストは、使用料収入と税金でまかなわれているため、施設を利用しない方も、納税により間接的にコストを負担していることになります。一方、公共施設の設置目的は、町民全体の福祉の増進であることから、税金の投入にも妥当性があります。公共施設の利用者負担について、次の2つの考えのうち、あなたの考えに近いものを1～4の選択肢の中から選んでください。(○は1つ)

A	公共施設に係るコストは、すべて税金で維持すべきである。
B	公共施設は使う人と使わない人がいるのだから、税金だけで維持するのではなく、使う人が施設のコストに見合った負担をすべきである。

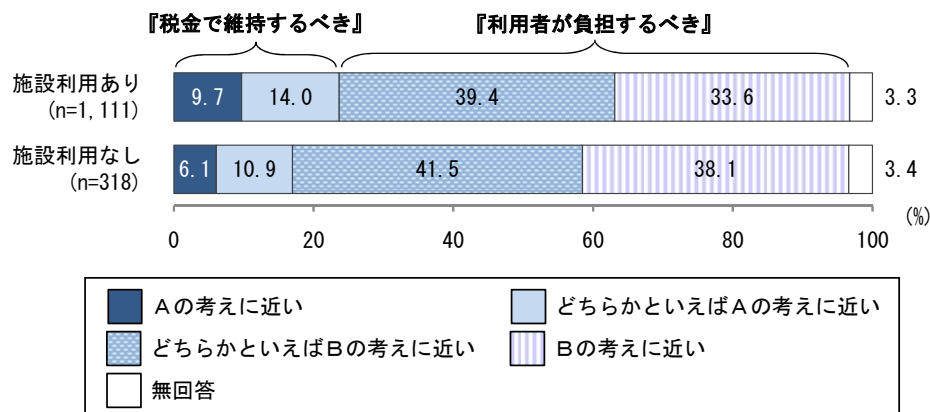
【全体】



受益者負担について、『税金で維持すべき』（「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」を合わせた割合）との回答が21.9%、『利用者が負担すべき』（「Bの考えに近い」と「どちらかといえばBの考えに近い」を合わせた割合）との回答が74.3%となっている。

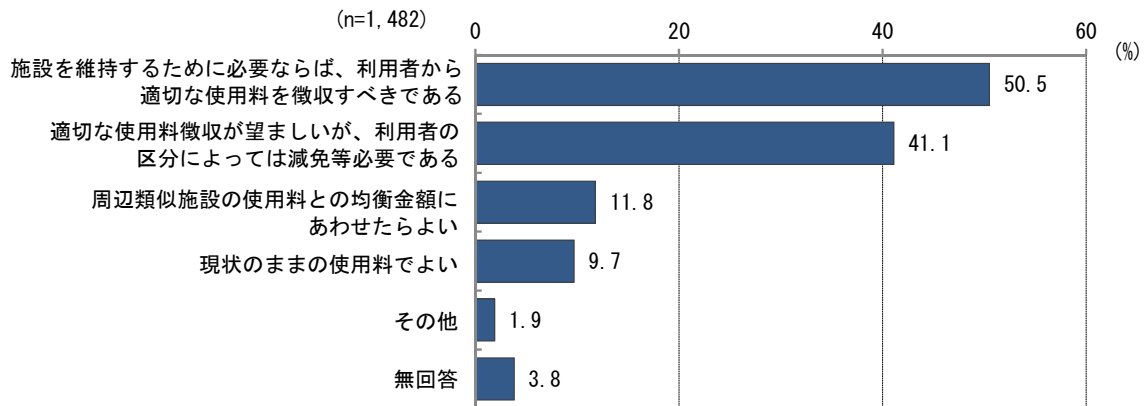
【施設利用状況別】

施設利用状況別にみると、『税金で維持すべき』との回答は「施設利用あり」（23.7%）が「利用者が負担すべき」（17.0%）を6.7ポイント上回っている。



問 16 府中町では、統一的な考え方の元、施設の建設、修繕、維持管理、運営に掛かるすべての費用を考慮して施設使用料の見直しを検討します。このことについてあなたの考えに近い選択肢を選んでください。(〇はいくつでも)

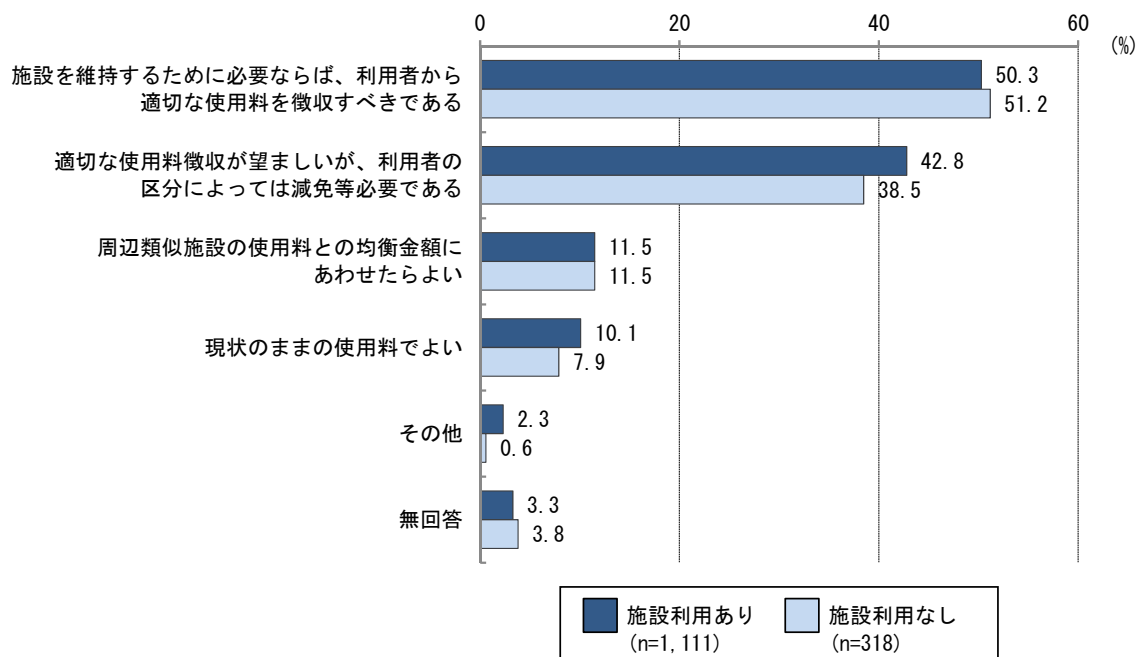
【全体】



施設使用料の見直しについて、「施設を維持するために必要ならば、利用者から適切な使用料を徴収すべきである」との回答が50.5%と最も高く、次いで「適切な使用料徴収が望ましいが、利用者の区分によっては減免等必要である」(41.1%)、「周辺類似施設の使用料との均衡金額にあわせたらよい」(11.8%)などの順となっている。

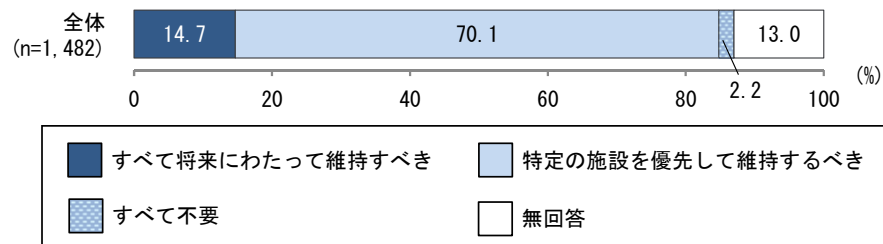
【施設利用状況別】

施設利用状況別にみると、「施設を維持するために必要ならば、利用者から適切な使用料を徴収すべきである」との回答は施設利用に関わらず5割超と大きな差はみられない。



問 17 下記の公共施設のうち、あなたが将来にわたって維持すべきだと考える公共施設を3つまで選び、それぞれの順位に番号を記入してください。(数字を記入)

【全体】



※「特定の施設を優先して維持すべき」…1～3位にいずれかの施設の番号を記入した人。

【順位別】

(点)		
順位	施設名	得点
1位	老人福祉センター福寿館	1,109
2位	府中公民館	961
3位	府中南交流センター	958
4位	府中南公民館	670
5位	ふれあい福祉センター	539
6位	府中北交流センター	418
7位	総社会館	161
8位	東地区センター	61
9位	鶴江地区センター	53
—	その他	498

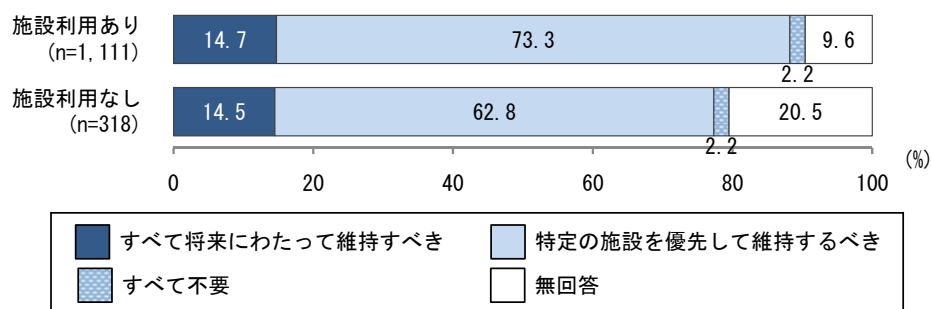
※優先して維持すべき公共施設 1位…3点、2位…2点、3位…1点で点数化し、順位を算出している。

優先して維持すべき公共施設について、「特定の施設を優先して維持すべき」との回答が70.1%と最も高く、次いで「すべて将来にわたって維持すべき」(14.7%)、「すべて不要」(2.2%)の順となっている。

また、順位別でみると、「老人福祉センター福寿館」、「府中公民館」、「府中南交流センター」を維持すべきとの割合が高くなっている。

【施設利用状況別】

施設利用状況別にみると、「特定の施設を優先して維持すべき」との回答は「施設利用あり」(73.3%)が「施設利用なし」(62.8%)を10.5ポイント上回っている。



5 自由記述について

問 18 その他、府中町公共施設の今後のあり方について、ご意見がありましたらご記入ください。
(できるだけ箇条書きにてお願いいたします)

【全体】

(件)		
	分類	件数
(1)	現在の公共施設への意見について	196
(2)	維持すべき公共施設について	16
(3)	廃止・統合の検討について	72
(4)	新しい施設の設置について	32
(5)	受益者負担について	34
(6)	交通関係について	24
(7)	その他の意見	55
(8)	特になし、わからない	12

自由記述について、記載内容ごとに8項目に分類し、集計を行った。各分類ごとの代表的な意見は次のとおりとなっている。

(1) 現在の公共施設への意見について (196 件)

現在の公共施設への意見について、子供が遊べる遊具を増やしてほしいといった公園に対する要望のほか、公共施設に対し避難所としての機能を求める意見が多くみられる。また、各施設のPRをもっとしていくべきとの意見も多数みられる。

(2) 維持すべき公共施設について (16 件)

維持すべき公共施設について、子供のための施設は残すべきとの意見が多くみられる。

(3) 統合や廃止の検討について (72 件)

維持すべき公共施設について、地域に複数ある交流センターや公民館を統合・廃止すべきではないかとの意見が多くみられる。

(4) 新しい施設の設置について (32 件)

新しい施設の設置について、プールや武道館などスポーツができる施設の要望が多くみられる。

(5) 受益者負担について (34 件)

受益者負担について、利用者が負担するべきとの意見が多いが、町民全体で負担するべきとの意見もみられる。町外の人の使用料や趣味や商売での使用料を上げる(有料にする)といった利用者の種類や利用目的に応じて料金を改定すべきとの意見もみられる。

（６）交通関係について（24 件）

交通関係について、高齢層の意見が多く、つばきバスの運行ルートや便の本数の変更を求める意見が多くみられる。

（７）その他の意見（55 件）

その他の意見について、公共施設に関する意見では、今後の施設計画等を公表してほしいといった意見がみられる。公共施設以外の意見では、避難場所についてなど防災に関する意見が多くみられるほか、町内放送が聞きとれないとの意見も複数みられる。

IV 参考資料

1 調査票

府中町の公共施設等を取り巻く現状

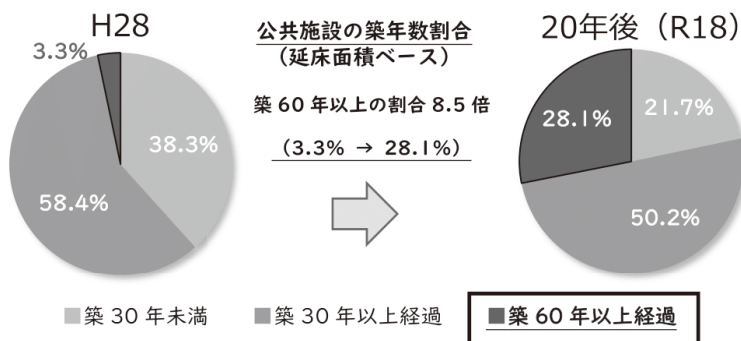
◆ 公共施設（建物）の保有量と築年数

- ・総保有延床面積は約 10 万㎡ですが、府中町の人口密度が高いという要因もあり、住民 1 人当りの施設保有量は県内市町で最も少ない状況であるため、平成 28 年度に策定した府中町公共施設等総合管理計画においては、公共施設の大幅な削減は行わず、複合化や長寿命化を推進する方針としています。

住民 1 人当りの公共施設保有量(延床面積)

府中町：2.1 ㎡/人 < 県内平均：6.9 ㎡/人

- ・昭和 30 年代から 50 年代にかけて高度経済成長期に建設された公共施設（建物）が、今後 20 年間で構造の耐用年数である築 60 年を迎え始め、建替えが集中することになります。



出典：府中町公共施設等総合管理計画（H28 年度）

◆ 公共施設（建物）の現状

- ・老朽化により約 4 割の建物で雨漏り等の不具合が発生している状況で、今後は公共施設（建物）の建替えに加え、施設の定期的な改修が必要となります。

◆ 今後の見通し

- ・今後生産年齢人口の減少により税収は減少する一方で、少子高齢化の進行により社会保障費が増大するなど、厳しい財政状況の中で、現有する公共施設をそのまま維持していくことが困難です。

※最後のページに、小学校区別の保有している公共施設の配置状況と町丁目を記載しています。

（各種計画等の詳細については、府中町のホームページに掲載の「府中町公共施設等総合管理計画」、「維持保全計画（建築物）」、「府中町人口ビジョン」をご覧ください。）



(公共施設等総合管理計画)



(維持保全計画（建築物）)



(府中町人口ビジョン)

次ページからがアンケートです。

府中町公共施設に関する住民アンケート調査
(該当する選択肢の番号に○をつけてください。)

■ はじめに、ご回答いただくあなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(令和3年7月1日時点)

- | | |
|----------|---------|
| 1 20歳代以下 | 5 60歳代 |
| 2 30歳代 | 6 70歳代 |
| 3 40歳代 | 7 80歳以上 |
| 4 50歳代 | |

問3 あなたがお住まいの地区はどの小学校区ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1 府中小学校区 | 4 北小学校区 |
| 2 中央小学校区 | 5 東小学校区 |
| 3 南小学校区 | 6 わからない |

問4 同居されているご家族についてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1 配偶者 | 5 親 |
| 2 未就学の子 | 6 親せき |
| 3 小学生の子 | 7 その他() |
| 4 中学生以上の子 | 8 同居家族はいない(一人暮らし) |

問5 府中町での居住年数についてお答えください。(○は1つ)

- | |
|---------------|
| 1 5年未満 |
| 2 5年以上 10年未満 |
| 3 10年以上 20年未満 |
| 4 20年以上 |

問6 下記の公共施設のうち、利用頻度が高いものから順に3つまで選びそれぞれの順位に番号を記入してください。避難所としての利用は除き、日常の利用でお答えください。

1位【 】 2位【 】 3位【 】☐ → いずれも利用していない (☒ のうえ)

- | | | | |
|---|--------------------|----|-----------------|
| 1 | くすのきプラザ（アリーナ・会議室等） | 10 | 小中学校（グラウンド・体育館） |
| 2 | くすのきプラザ（図書館・教育委員会） | 11 | ふれあい福祉センター |
| 3 | 府中南交流センター | 12 | 老人福祉センター福寿館 |
| 4 | 府中北交流センター | 13 | 揚倉山健康運動公園 |
| 5 | 府中公民館 | 14 | 空城山公園 |
| 6 | 府中南公民館 | 15 | 水分峡森林公園 |
| 7 | 東地区センター | 16 | 役場庁舎 |
| 8 | 総社会館 | 17 | その他（ ） |
| 9 | 鶴江地区センター | | |

問7 あなたの主な利用目的はどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|---|------------------------|------------------|
| 1 | 個人での利用 | ・・・(趣味・教養的活動など) |
| 2 | 教育目的での利用(校外授業等) | ・・・(小中学校の教育活動など) |
| 3 | ボランティア活動 | ・・・(社会的活動など) |
| 4 | 地域団体での利用 | ・・・(町内会や子供会など) |
| 5 | 地域団体での利用 | ・・・(趣味・教養的活動など) |
| 6 | 施設等又は定期団体利用 | ・・・(趣味・教養的活動など) |
| 7 | 施設等又は定期団体利用 | ・・・(同好会やサークルなど) |
| 8 | その他〔具体的にご記入ください：_____〕 | |

- 1 利用していない（無料施設のみ利用）
- 2 使用料を支払って利用している（団体での支払いも含む）
- 3 使用料の減免を受けて利用している（団体での減免も含む）
- 4 分からない（団体で利用しており、有料施設か無料施設か知らない）

問 9 あなたは公共施設のサービス内容について、どのような改善があれば利用しやすくなりますか。(〇はいくつでも)

- 1 利用（貸出）可能な施設を周知する
- 2 施設の利用（予約）方法を周知する
- 3 利用可能時間・曜日を改善する
- 4 アクセスを改善する（公共交通機関利用）
- 5 駐車スペースを改善する（台数不足）
- 6 予約サービスを導入する（オンライン予約等）
- 7 支払い方法を多様化する（キャッシュレス等、施設での支払い）
- 8 とくにない
- 9 その他〔具体的にご記入ください： _____ 〕

■ 公共施設の老朽化問題についてお答えください。

問 10 あなたは身近な公共施設が老朽化していると感じていますか。(〇は1つ)

- 1 感じている
- 2 どちらかといえば感じている
- 3 どちらかといえば感じていない
- 4 感じていない

問 11 あなたは公共施設の老朽化問題や更新問題にどのくらい関心をお持ちですか。(〇は1つ)

- 1 関心がある
- 2 どちらかといえば関心がある
- 3 どちらかといえば関心がない
- 4 関心がない

■ 公共施設の今後のあり方についてお答えください。

今後、公共施設の修繕や建替えなどの費用が増大すると予測されています。しかし、厳しい財政状況の中、現有の公共施設をそのまま維持していくことは困難な状況です。この状況を踏まえ、以下の設問に対しあなたの考えをお答えください。

問 12 公共施設の管理運営にかかる費用について、コスト縮減策や財源確保としてあなたはどのような方法がよいと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 町での管理運営をやめて民間又は地域団体に運営してもらう |
| 2 利用頻度の低い施設については統廃合する |
| 3 税金で負担する(みんなで負担) |
| 4 使用料を見直す(上げる) |
| 5 その他〔具体的にご記入ください: _____〕 |

問 13 公共施設を維持していくために、特に建替えコストを縮減することが重要です。次のような建替えコスト縮減策をあなたはどのように考えますか。

(建替えコスト縮減策ごとに○は1つ)

建替えコスト縮減策	賛成	どちらかといえば賛成	どちらともいえない	どちらかといえば反対	反対
①廃止も含め検討する	1	2	3	4	5
②複合化で効率化する	1	2	3	4	5
③規模を縮小する	1	2	3	4	5
④安価な建物にする	1	2	3	4	5
⑤民間施設等を借りる	1	2	3	4	5

問 14 公共施設を維持していくために、コストを縮減してもなお財政的に厳しい場合などにおいて、次のような財源確保策をあなたはどのように考えますか。(財源確保策ごとに○は1つ)

財源確保策	賛成	どちらかといえば賛成	どちらともいえない	どちらかといえば反対	反対
①町民以外の使用料割増し	1	2	3	4	5
②駐車場の有料化等	1	2	3	4	5
③公有財産の売却 (土地・建物等)	1	2	3	4	5

問 15 公共施設の運営に必要なコストは、使用料収入と税金でまかなわれているため、施設を利用しない方も、納税により間接的にコストを負担していることになります。一方、公共施設の設置目的は、町民全体の福祉の増進であることから、税金の投入にも妥当性があります。公共施設の利用者負担について、次の 2 つの考えのうち、あなたの考えに近いものを 1～4 の選択肢の中から選んでください。(○は 1 つ)

- 1 Aの考えに近い
- 2 どちらかといえばAの考えに近い
- 3 どちらかといえばBの考えに近い
- 4 Bの考えに近い

問 17 下記の公共施設のうち、あなたが将来にわたって維持するべきだと考える公共施設を3つまで選び、それぞれの順位に番号を記入してください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1 府中南交流センター | 7 鶴江地区センター |
| 2 府中北交流センター | 8 ふれあい福祉センター |
| 3 府中公民館 | 9 老人福祉センター福寿館 |
| 4 府中南公民館 | 10 すべて将来にわたって維持すべき |
| 5 東地区センター | 11 すべて不要 |
| 6 総社会館 | 12 その他（ ） |

問 18 その他、府中町公共施設の今後のあり方について、ご意見がありましたらご記入ください。
(できるだけ箇条書きにてお願いいたします)

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【参考資料】

保有する公共施設の小学校区別施設配置状況

小学校区	施設名	
府中北小学校区	総社会館	府中北小学校区留守家庭児童会
	旧府中町商工会事務所(消防団第1分団)	府中町水分峡森林公園(管理棟、作業棟)
	府中町立府中北小学校	五反田住宅
小学校区計		6施設
府中小学校区	安芸府中生涯学習センターくすのきプラザ	府中町商工会事務所
	府中北交流センター	府中町立府中小学校
	府中町立府中公民館	府中町役場本庁舎
	鶴江地区センター	府中町消防本部及び消防署
	歴史民俗資料館	(旧)府中町消防団第2分団詰所
	府中町立体育場	防災倉庫及び倉庫
	安芸府中商工センター	鶴江仮住居(ダーナサイナス)
小学校区計		14施設
府中東小学校区	府中東地区センター	府中東小学校区留守家庭児童会
	府中町立府中東小学校	揚倉山健康運動公園(管理棟)
	府中町立府中中学校	山田ブロック住宅
小学校区計		6施設
府中中央小学校区	府中町立府中中央小学校	福寿館
	府中町立府中緑ヶ丘中学校	空城山公園(管理棟)
	府中中央小学校区留守家庭児童会	府中町環境センター
	府中町ふれあい福祉センター	府中町消防団第2分団詰所
	府中町シルバーワークプラザ	
小学校区計		9施設
府中南小学校区	府中南交流センター	桃山住宅
	府中町立府中南公民館	青崎東住宅
	柳ヶ丘町内会集会所	府中町消防団第3分団詰所
	府中南体育場(南小学校体育館)	向洋駅周辺区画整理事務所
	府中町立府中南小学校	向洋駅北口駅舎
	府中南小学校区留守家庭児童会	
小学校区計		11施設

小学校区ごとの町丁目

府中北小学校区	桜ヶ丘、清水ヶ丘、城ヶ丘、みくまり一丁目・二丁目・三丁目、 石井城一丁目・二丁目、本町三丁目
府中小学校区	本町一丁目・二丁目・四丁目・五丁目、宮の町一丁目・三丁目、鶴江一丁目・二丁目、 大須一丁目・二丁目・三丁目・四丁目、大通二丁目6街区、大通三丁目
府中東小学校区	宮の町四丁目・五丁目、瀬戸ハイム一丁目・二丁目・三丁目・四丁目、八幡二丁目、 山田一丁目・二丁目・三丁目・四丁目・五丁目
府中中央小学校区	宮の町二丁目、茂陰一丁目・二丁目、八幡一丁目・三丁目・四丁目、緑ヶ丘、 大通一丁目・二丁目(6街区を除く)、浜田一丁目・二丁目・三丁目・四丁目、浜田本町
府中南小学校区	鹿籠一丁目・二丁目、柳ヶ丘、桃山一丁目・二丁目、青崎南・青崎中・青崎東、 千代、新地

名 称 府中町公共施設に関する住民アンケート調査 報告書
発 行 府中町 財務部 管財課
所 在 地 〒735-8686 広島県安芸郡府中町大通三丁目 5 番 1 号
電 話 082-286-3288
FAX 082-287-2668
E-mail : kanzai@town.fuchu.hiroshima.jp
発行年月 令和 3 年 9 月